

Intel Unite® V3.3

多拠点会議スタートガイド

目次

| | |
|--|-----------|
| Intel Unite®ソリューションのマニュアル | 1 |
| マニュアルの表記 | 1 |
| 概要 | 2 |
| 多拠点会議のシナリオ | 2 |
| 必要環境について | 3 |
| 事前準備 | 4 |
| Skype for Business 用プラグインのインストール | 5 |
| ● 前提条件 | 5 |
| ● Skype for Business 用プラグインのインストール手順 | 8 |
| Microsoft Outlook 用プラグインのインストール | 17 |
| 多拠点会議を行う | 18 |
| オンライン会議をスケジュールする | 18 |
| ハブ PC に接続するためのリンクメールを送信する | 18 |
| ● 会議主催者の操作 | 18 |
| ● 会議参加者の操作 | 19 |
| ハブ PC をオンライン会議に参加させる | 21 |
| B 会議室の参加者がオンライン会議に参加する | 23 |
| 資料を共有する | 24 |
| カメラ画像のサイズ変更、非表示 | 25 |
| アドホックミーティング機能について | 27 |
| ハブ PC の設定ファイル編集 | 27 |
| ハブ PC のファイアウォール設定 | 28 |
| クライアント用プラグインのインストール | 30 |
| 「default」プロファイルの編集 | 30 |
| 動作確認 | 35 |
| トラブルシューティング | 37 |

Intel Unite®ソリューションのマニュアル

本書では、Intel Unite ソリューションを利用して多拠点会議をご利用になる場合の導入手順を、画面入りで説明しています。

本書のほかに、ダウンロードサイトに次のマニュアルが用意されています。用途に応じてご活用ください。

- ・ Intel Unite ソリューション V3.3 エンタープライズ導入ガイド.pdf
- ・ Intel Unite ソリューション V3.3 スモールビジネスユーザーガイド.pdf
- ・ Intel Unite ソリューション V3.3 ユーザーガイド.pdf

マニュアルの表記

このマニュアルの内容は、2018 年 9 月現在のものです。

■ 画面例およびイラストについて

本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種や環境によって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。

■ 製品の呼び方

本文中では、製品名称を次のように略して表記することがあります。

| 製品名称 | このマニュアルでの表記 |
|--------------|-------------|
| Intel Unite® | Intel Unite |

■ 商標および著作権について

インテル、Intel および Intel Unite は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2018

概要

Intel Unite ソリューションには、Skype for Business と連携して会議を行うためのプラグインが提供されています。

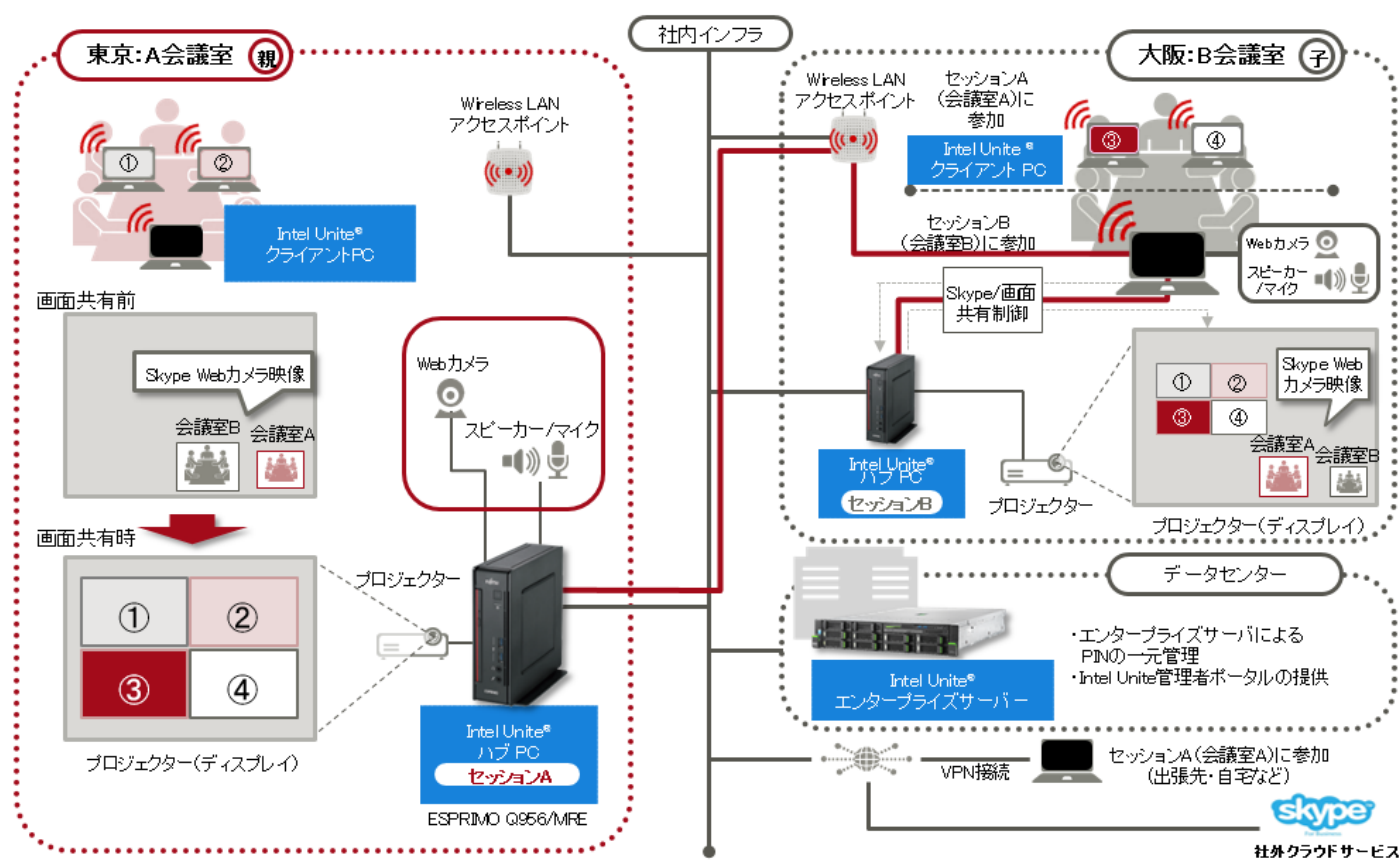
このプラグインにより、Intel Unite にて最大 4 画面同時に共有された画面を、Skype を通じて複数の会議室で確認しながらオンライン会議を行うことができます。

本書では、Intel Unite と Skype for Business を利用して、多拠点の会議室間でオンライン会議を行うための手順をご案内しています。

多拠点会議のシナリオ

下の図は、Skype for Business 用プラグインを利用し、オンライン会議を行う場合の構成例です。本書では、この構成例を元に、次のシナリオで多拠点会議を行う手順をご案内します。

- ・ A 会議室（東京）と B 会議室（大阪）で、オンライン会議を行います。
- ・ A 会議室のハブ PC と、B 会議室の参加者のクライアント PC が Skype for Business を利用することにより、両会議室で画面共有および音声通話を行います。
- ・ A、B の各会議室にいる発表者は、Intel Unite クライアント・アプリケーションを使用して A 会議室に設置されているハブ PC（セッション A）で資料を共有し、1 画面に複数の資料を表示することができます。
- ・ B 会議室では Skype for Business の画面を会議室に設置されているハブ PC（セッション B）に共有することで、B 会議室の参加者全員が共有された資料を確認することができます。



必要環境について

Intel Unite と Skype for Business を連携させた多拠点会議を行うためには、次の環境が必要になります。

■Intel Unite V3.3 エンタープライズ環境

- ・ Intel Unite エンタープライズ サーバー
- ・ Intel Unite ハブ PC (Q956/MRE)
 - ※ハブ PC にはマイク／スピーカーデバイス（必要であればカメラデバイス）を接続
- ・ Intel Unite クライアント PC

■Microsoft Exchange 2010 以降

■Skype for Business 2013 以降

- ※Skype for Business クライアント PC にはマイク／スピーカーデバイス（必要であればカメラデバイス）を接続

Intel Unite エンタープライズ環境の構築に関しては、『Intel Unite ソリューション V3.3 エンタープライズ導入ガイド.pdf』をご覧ください。

Microsoft Exchange や Skype for Business に関しては、それぞれの製品マニュアルに従い構築してください。

本書では、必要環境が構築済みの前提で、Intel Unite と Skype for Business を連携させる手順を中心に説明しています。

また、本書で扱う各製品のバージョンは次のとおりです。

- ・ Microsoft Exchange 2013 Service Pack 1
- ・ Skype for Business 2015

その他の製品バージョンについてはご案内している画面や手順と異なる場合があります。詳細は各製品のマニュアルをご覧ください。

事前準備

多拠点会議を行うために必要なプラグインをインストールします。
インストールするプラグインは次のとおりです。

- ・ **Skype for Business 用プラグイン**

Intel Unite クライアント・アプリケーションを使用して、接続先のハブ PC を Skype for Business によるオンライン会議に参加させるためのプラグインです。

会議室に設置されるハブ PC には、キーボードやマウスなどの入力デバイスが接続されていない場合があります。本プラグインを利用すると、ハブに入力デバイスが接続されていなくても、会議参加者がハブ PC をオンライン会議に参加させることができます。

- ・ **クライアント用 Skype for Business 用プラグイン**

Intel Unite クライアント・アプリケーションを使用して、オプション機能のアドホックミーティング機能を利用するためのプラグインです。

通常の Skype for Business プラグインの利用では、オンライン会議をスケジュールするにはハブ PC に割り当てた Exchange ユーザーを宛先に指定する必要があります。

本プラグインの機能である「アドホックミーティング機能」は、ハブ PC に割り当てた Exchange ユーザーを宛先に指定していなくても、Intel Unite クライアント・アプリケーションを利用するユーザーに会議がスケジュールされていれば、ハブ PC をオンライン会議に参加させることができます。

詳しくは、「アドホックミーティング機能について」(P.27) をご覧ください。

- ・ **Microsoft Outlook 用プラグイン**

Microsoft Outlook を使用して、会議への招待メール（ハブ PC に接続するためのリンクが記載されたメール）を送信するためのプラグインです。

会議参加者はリンクをクリックすることで、Intel Unite クライアント・アプリケーションを起動することができます。代表者 1 人がハブ PC に表示されている PIN を入力してハブ PC に接続すると、他の参加者は PIN を入力することなく同じハブ PC に接続することができます。

次の表は、多拠点会議を行う手順において使用される各プラグインの機能の概要です。

| 多拠点会議を行う手順 | | 各プラグインの機能 |
|------------|----------------------------------|---|
| 1 | オンライン会議をスケジュールする (P.18) | <ul style="list-style-type: none">・ 通常の Skype for Business 用プラグインを利用した場合 ハブ PC に割り当てた Exchange ユーザーを、宛先に指定する必要があります。・ クライアント用 Skype for Business 用プラグインを利用した場合 「アドホックミーティング機能」により、ハブ PC に割り当てた Exchange ユーザーを宛先に指定する必要はありません。 |
| 2 | ハブ PC に接続するためのリンクメールを送信する (P.18) | Microsoft Outlook 用プラグインの機能 |
| 3 | ハブ PC をオンライン会議に参加させる (P.21) | Skype for Business 用プラグインの機能 |
| 4 | B 会議室の参加者がオンライン会議に参加する (P.23) | |
| 5 | 資料を共有する (P.24) | |

Skype for Business 用プラグインのインストール

ここでは、Skype for Business 用プラグインのインストールの手順を説明します。
次の手順はハブ PC (Q956/MRE) 上で行ってください。

● 前提条件

1 Microsoft Exchange の電子メールアカウントを確認します。

ハブ PC がオンライン会議に参加するためには、ハブ PC 専用に割り当てられた Microsoft Exchange の電子メールアカウントが必要です。アカウントは、カレンダーの読み取り／書き込みおよび、Skype for Business にサインインするアクセス権が必要となります。

2 Exchange Web Service へのアクセスを確認します。

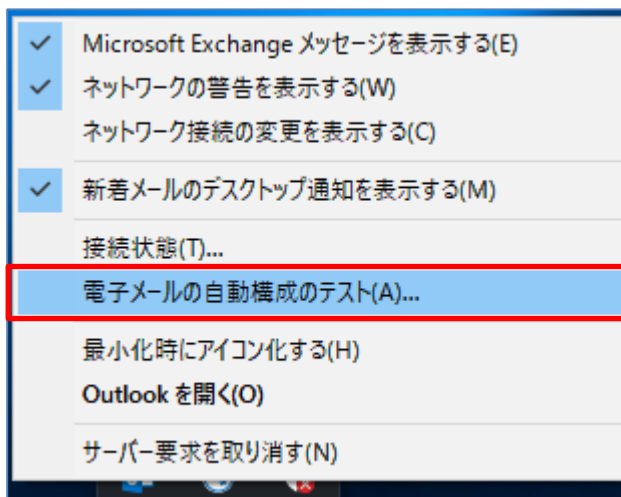
Exchange Web Service の URL (<https://<Exchangeサーバー名>/EWS/Exchange.asmx>) を確認してください。

Exchange Web Service の URL が不明な場合は、次の手順により確認してください。

1. Outlook を起動します。
2. Outlook のシステムトレイ・アイコンを、Ctrl キーを押しながら右クリックします。

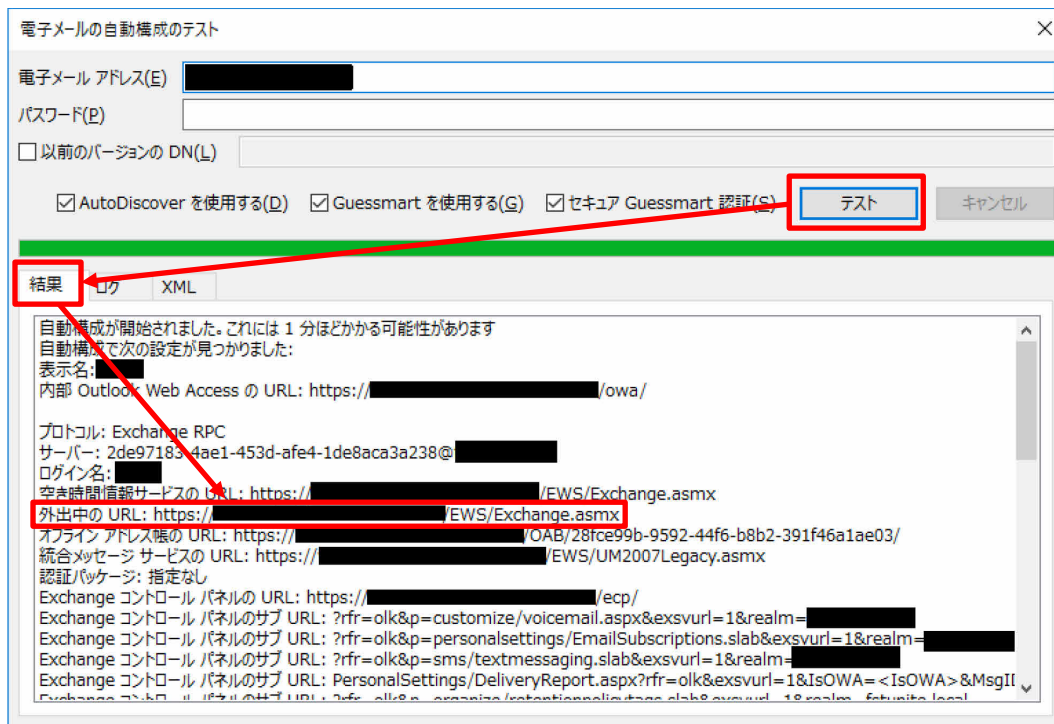


3. 表示されたメニューから「電子メールの自動構成のテスト」をクリックします。



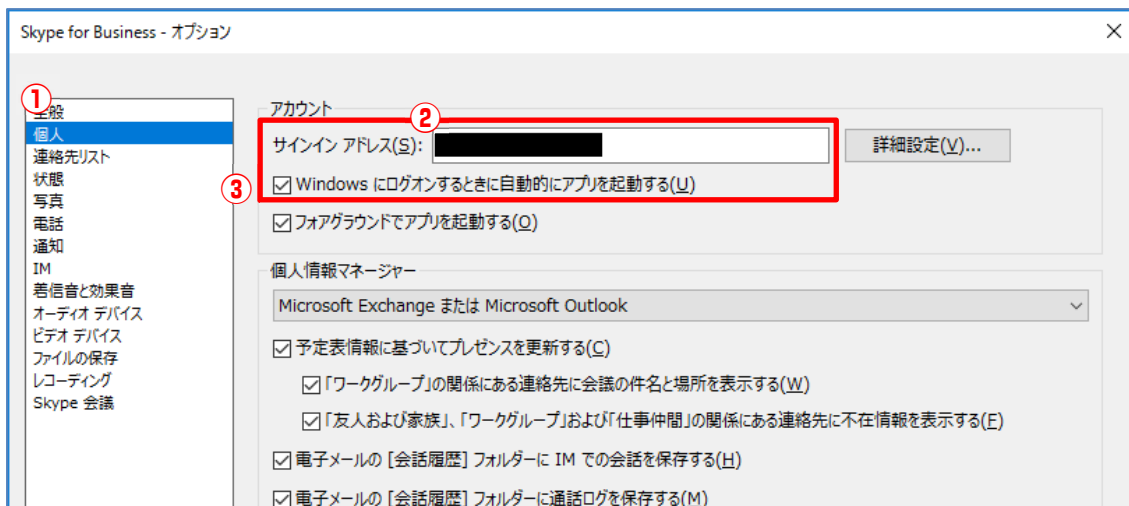
4. 「テスト」 ボタンをクリックします。

「結果」タブに表示された「外出中の URL」が、Exchange Web Service の URL となります。



3 起動時に Skype for Business に自動的にサインインするように設定します。

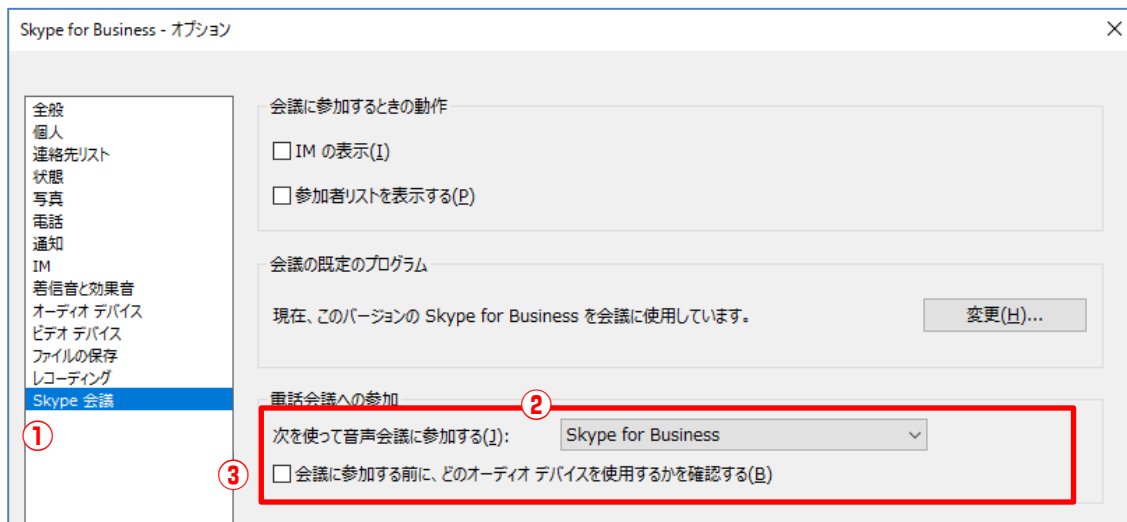
1. Skype for Business のオプション画面で「個人」をクリックします。
2. 「サインイン アドレス」にユーザーアカウント名を入力します。
3. 「Windows にログオンするときに自動的にアプリを起動する」にチェックを付けます。



(設定方法はバージョンにより異なる場合があります。お使いのソフトウェアの設定手順をご確認ください。)

4 オンライン会議参加時に、オーディオデバイスの確認を行わないように設定します。

1. Skype for Business のオプション画面で「Skype 会議」をクリックします。
2. 「電話会議への参加」の「次を使って音声会議に参加する」が「Skype for Business」に設定されていることを確認します。
3. 「会議に参加する前に、どのオーディオデバイスを使用するかを確認する」のチェックを外します。

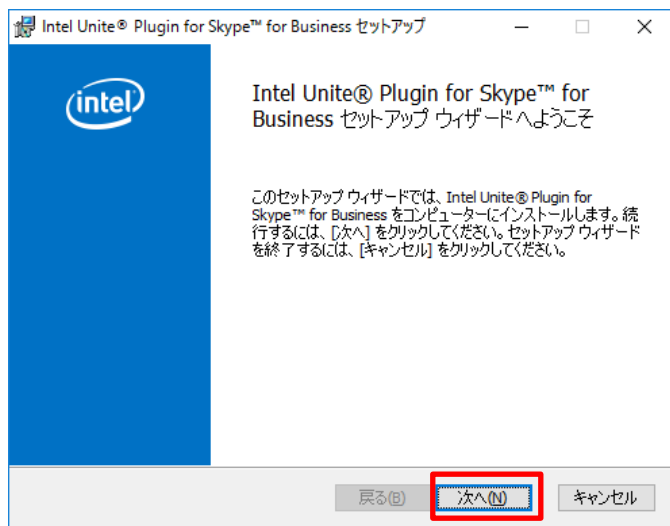


- Skype for Business 用プラグインのインストール手順

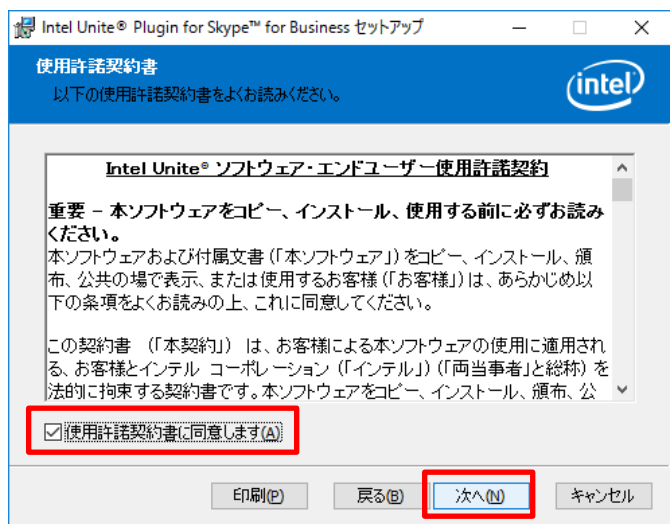
プラグインのインストールは、Skype for Business にログインでき、アカウント情報が正しく設定されている必要があります。

1 ハブ PC で実行している Intel Unite アプリケーションを終了します。

2 プラグインのインストーラー「Intel Unite Plugin for Skype for Business Installer.mui.msi」を実行し、「次へ」をクリックします。



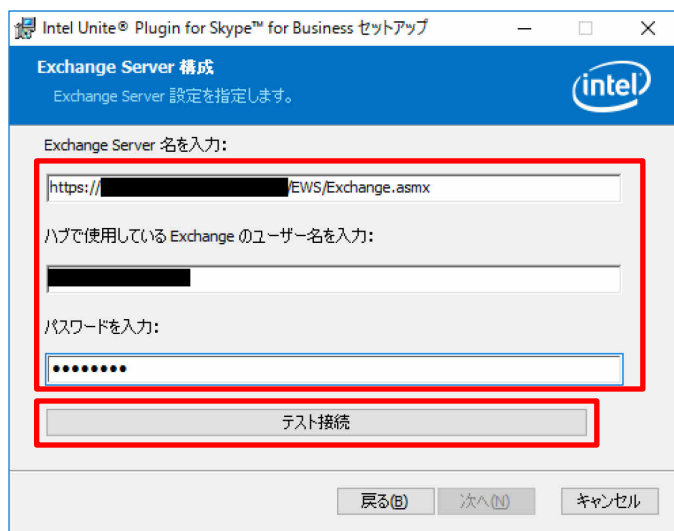
3 「使用許諾契約書に同意します」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。



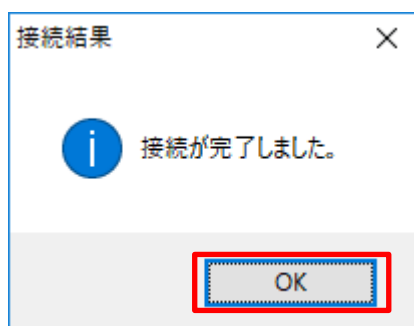
「Exchange Server 構成」ウィンドウが表示されます。

4 次の情報を入力し、「テスト接続」を実行します。

- Exchange Server 名を入力：
前提条件の手順 2-4 で確認した Exchange Web Service の URL を入力してください。
- ハブ PC で使用している Exchange のユーザー名を入力：
前提条件の手順 1 で確認した電子メールアカウントを入力してください。
- パスワードを入力：
前提条件の手順 1 で確認した電子メールアカウントのパスワードを入力してください。

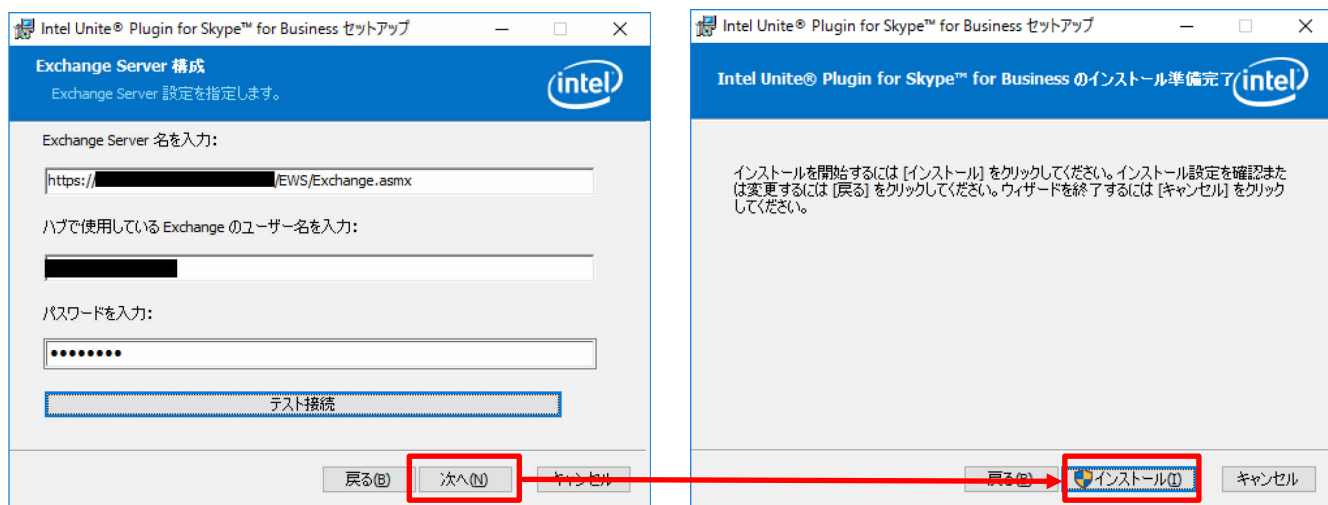


5 「接続が完了しました」と表示されたら、「OK」をクリックします。



6 「次へ」をクリックし、「インストール」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、管理者権限のあるアカウント情報を入力してください。

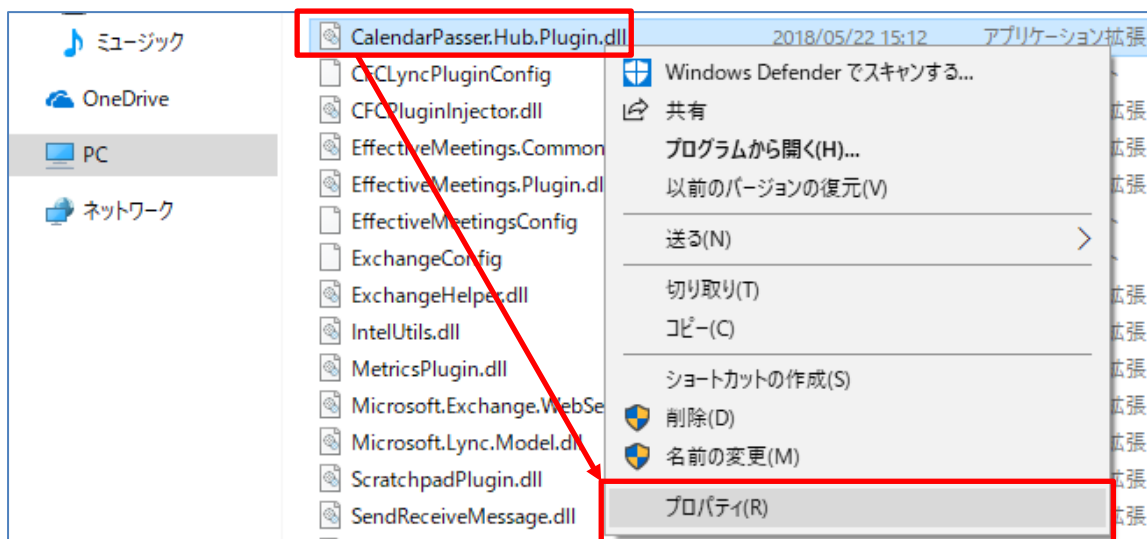


7 「完了」をクリックしてプラグインのインストールを終了します。

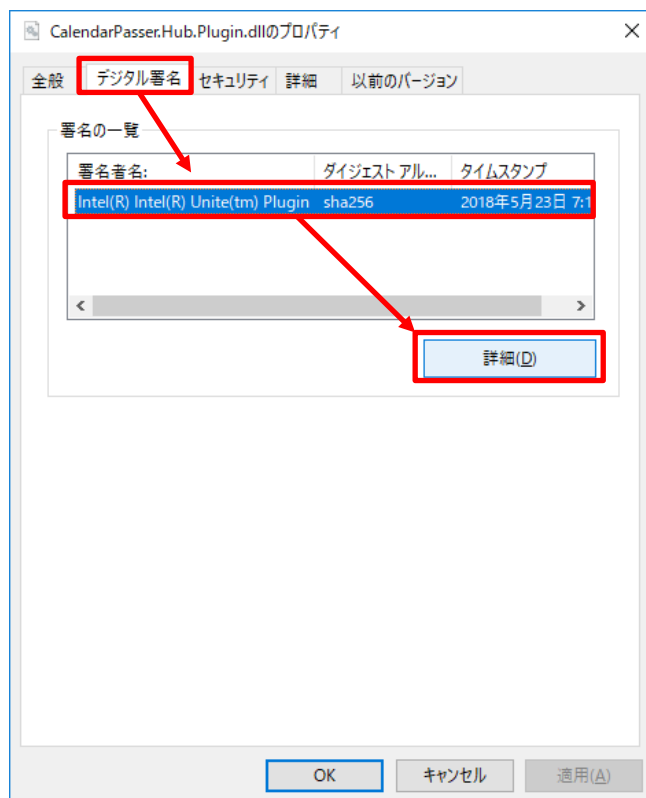


次に、プラグインを信頼済みに設定します。

- 8 「C:\Program Files(x86)\Intel\Intel Unite\Hub\Plugins」 フォルダを開き、CalendarPasser.Hub.Plugin.dll を右クリックしてプロパティを開きます。

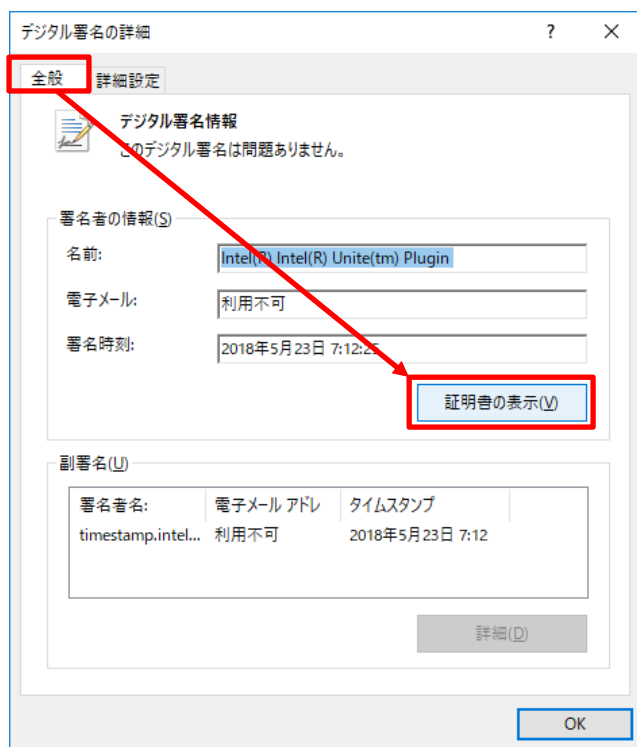


- 9 「デジタル署名」タブの「Intel(R) Intel(R) Unite(tm) Plugin」を選択し、「詳細」をクリックします。



「デジタル署名の詳細」が表示されます。

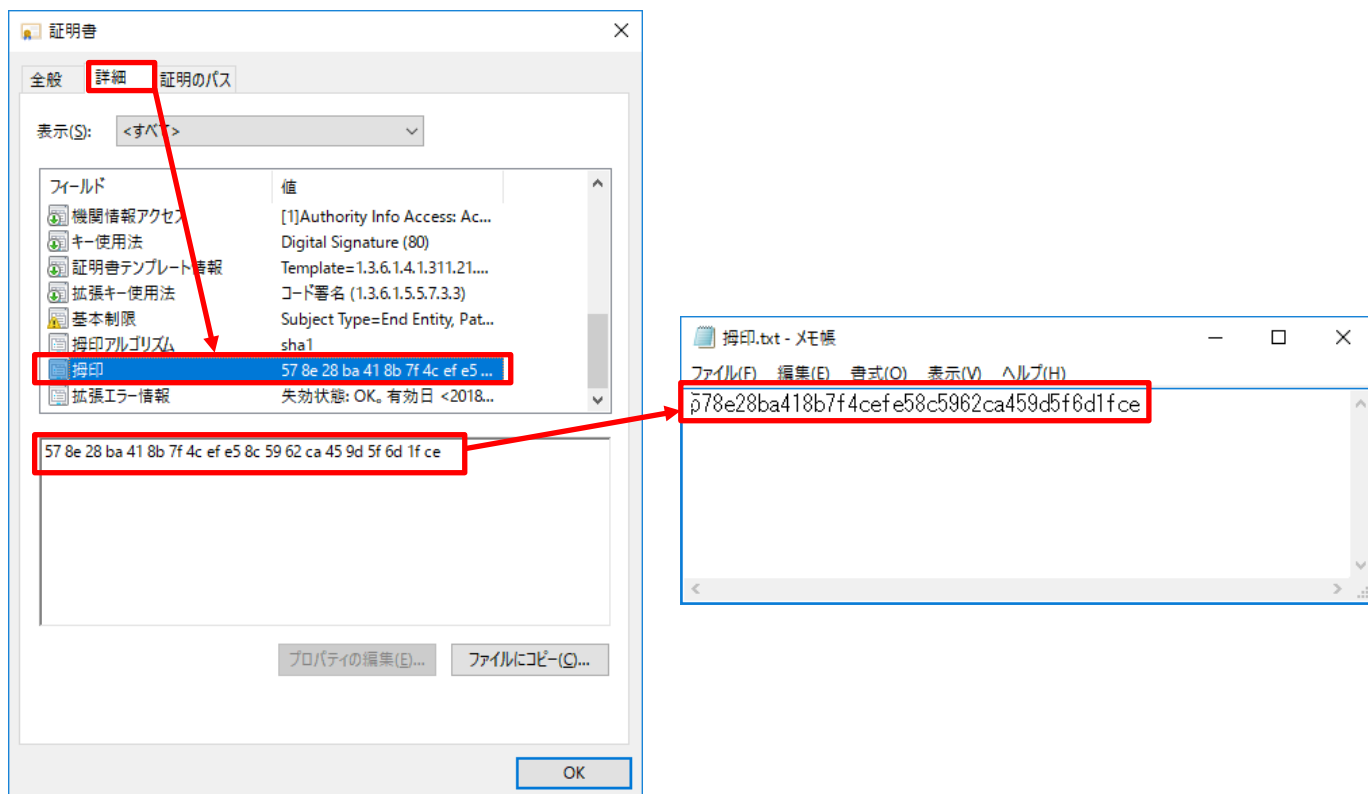
10 「全般」タブの「証明書の表示」をクリックします。



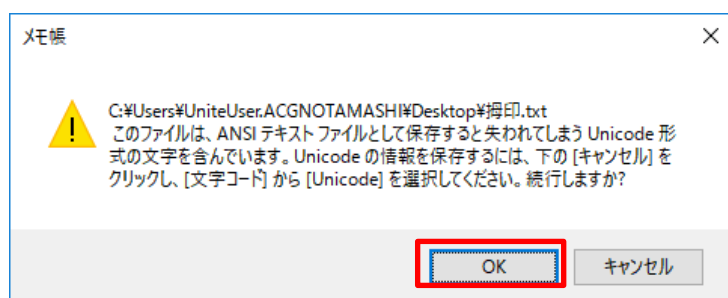
「証明書」が表示されます。

11 「詳細」タブの「拇印」を選択し、表示された値をメモ帳にコピーし、文字間のスペースがあれば削除して保存します。

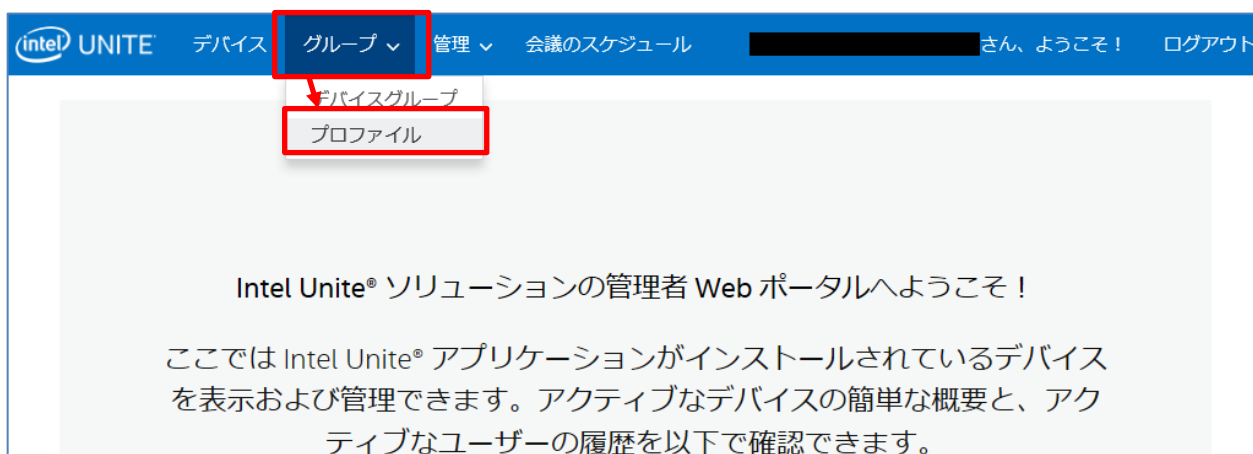
保存後は、プロパティを閉じてください。



※保存時に次のメッセージが表示された場合は、「OK」をクリックして保存を続行してください。手順 11 で保存したファイルをもう一度メモ帳で開き、含まれている不要な文字を削除してください。



12 Intel Unite 管理者ポータルにログインし、「グループ」の「プロフィール」を選択します。

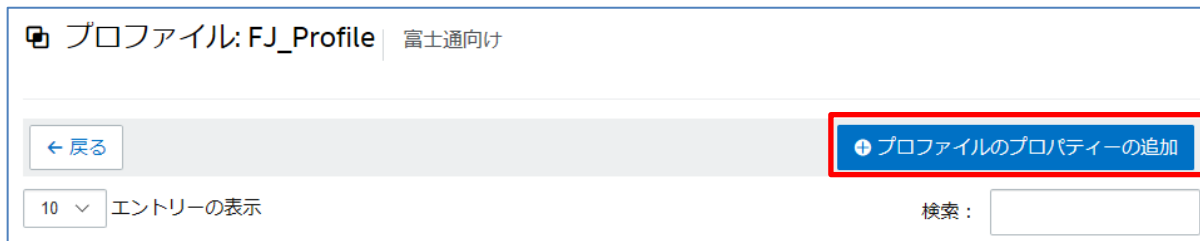


13 プラグインをインストールしたハブ PC プロファイルの「詳細」をクリックします。



「プロフィール」が表示されます。

14 「プロファイルのプロパティの追加」をクリックします。



プロファイル: FJ_Profile | 富士通向け

← 戻る

10 エントリーの表示

検索:

➕ プロファイルのプロパティの追加

「プロファイルのプロパティの追加」が表示されます。

15 次の情報を入力し、「保存」をクリックします。

- キー : PluginCertificateHash_LyncPlugin
- データ型 : 文字列
- 単位 : テキスト
- 値 : 手順 11 で保存した値（拇印の値）を入力します。



プロファイルのプロパティの追加

プロファイル
FJ_Profile

キー
PluginCertificateHash_LyncPlugin



データ型
文字列

単位
テキスト

値
578e28ba418b7f4cfe58c5962ca459d5f6d1fce

保存 キャンセル

16 「プロファイル」画面で、手順 15 で入力したプロパティが表示されていることを確認します。

| | | |
|----------------------------------|---|---|
| PluginCertificateHash_LyncPlugin | 578e28ba418b7f4cfe58c5962ca459d5f6d1fce |   |
|----------------------------------|---|---|

17 Intel Unite 管理者ポータルからログオフします。

以上で、Skype for Business 用プラグインのインストールと設定が終了しました。
次に、オンライン会議への招待、会議への参加および退席できることを確認します。

18 ハブ PC (Q956/MRE) で、Intel Unite アプリケーションを起動します。

19 仮の会議として、「テスト会議」を設定します。

自動的にオンライン会議を承諾し、Intel Unite クライアント・アプリケーションからハブ PC が会議に参加、および退席ができることを確認してください。

1. クライアント PC から、現在の日時にオンライン会議をスケジュールし、ハブ PC の Exchange アカウントを招待します。

The screenshot shows the 'New Meeting' form in the Exchange Online interface. The title is 'テスト会議 - 会議'. The 'To' field is empty. The 'Subject' field contains 'テスト会議'. The 'Location' field is set to 'Skype 会議'. The 'Start time' is '2018/03/07 (水) 13:30' and the 'End time' is '2018/03/07 (水) 14:00'. Below the form, there is a link to 'Skype 会議への参加' and a note about the Skype Web App.

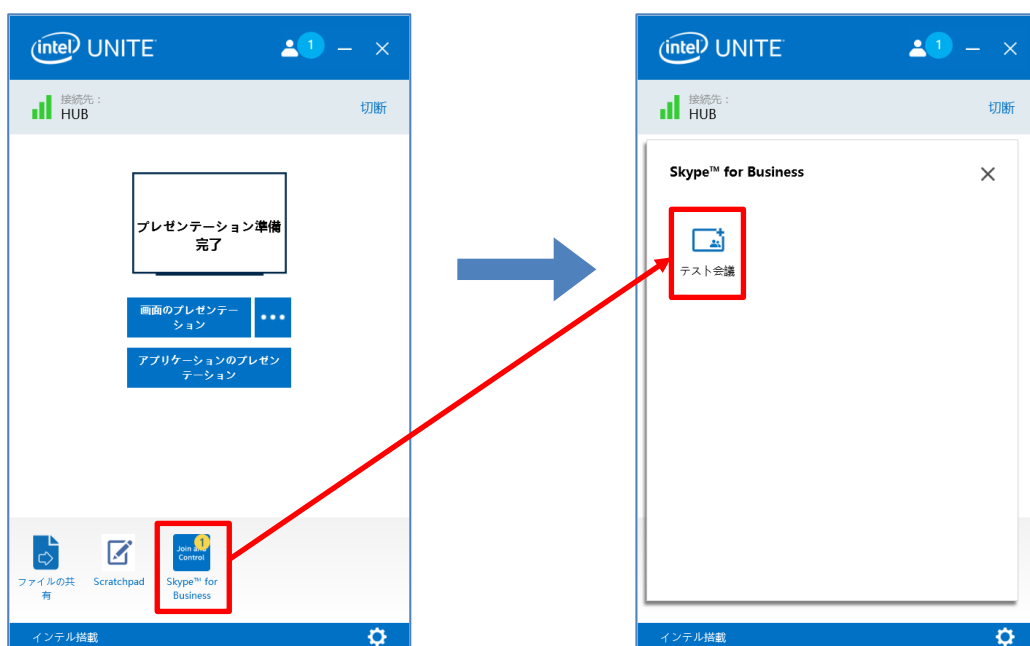
2. ハブ PC で、会議への招待を送った Exchange アカウントで会議が承諾されていることを確認してください。

The screenshot shows the 'Inbox' view in the Exchange Online interface. The search bar at the top is '現在のメールボックスの検索 (Ctrl+E)'. The left sidebar shows '受信トレイ 1' and '送信済みアイテム'. The main area shows a list of items. The first item is from 'hub2' with the subject '承諾済み: テスト会議' (Accepted: Test Meeting), which is highlighted with a red box. The time '13:46' is shown next to the item.

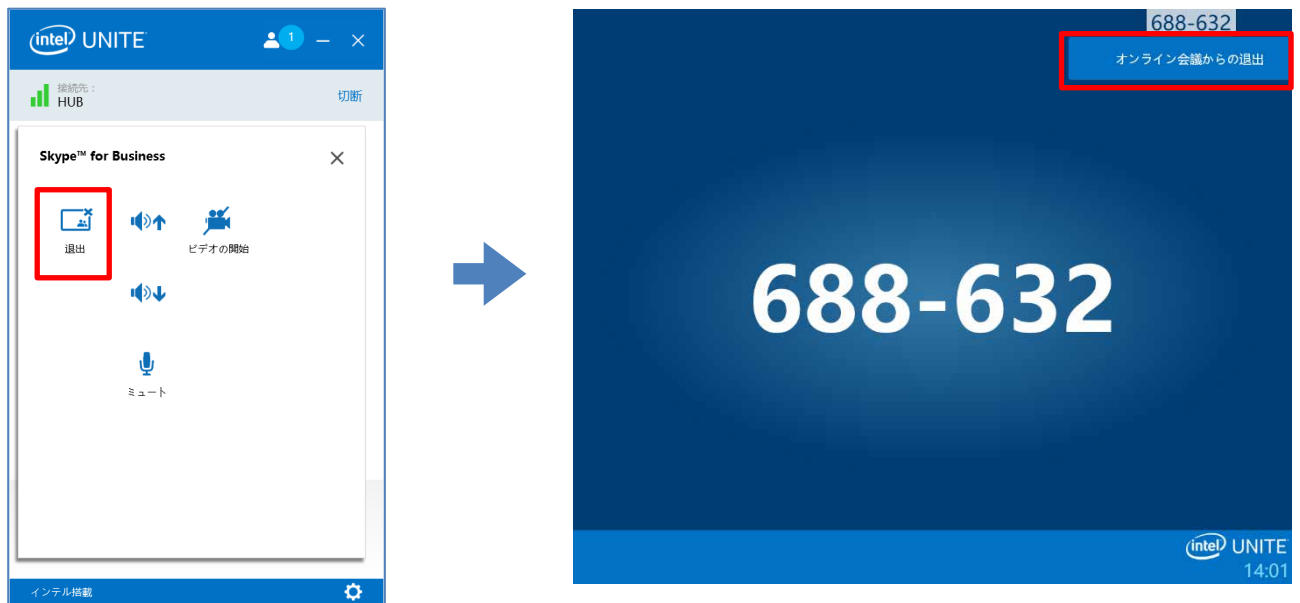
3. クライアント PC で Intel Unite クライアント・アプリケーションを開き、ハブ PC の PIN を入力して接続します。



4. クライアント PC の Intel Unite クライアント・アプリケーションの画面で「Skype™ for Business」をクリックし、表示された画面で設定した会議名のアイコンをクリックします。



5. ハブ PC がオンライン会議に参加できることを確認したら、「退出」をクリックし、会議を終了します。



Microsoft Outlook 用プラグインのインストール

Microsoft Outlook 用プラグインのインストールは、クライアント PC 上で行ってください。

- 1 Microsoft Outlook が動作している場合は終了します。
- 2 プラグインのインストーラー「Intel Unite Add-In for Microsoft Outlook.mui.msi」を実行し、画面の指示に従ってインストールします。

多拠点会議を行う

多拠点会議を行う手順について説明します。

多拠点会議を行うための全体的な流れは次のとおりです。

- ・ オンライン会議をスケジュールする
- ・ ハブ PC に接続するためのリンクメールを送信する
- ・ ハブ PC をオンライン会議に参加させる
- ・ B 会議室の参加者がオンライン会議に参加する
- ・ 資料を共有する
- ・ カメラ画像のサイズを変更する

オンライン会議をスケジュールする

A 会議室と B 会議室でのオンライン会議を Skype for Business で行うため、会議主催者が Microsoft Outlook を使用してオンライン会議をスケジュールします。

会議参加者（少なくとも A 会議室のハブ PC の画面を B 会議室のハブ PC に共有する担当者）、および A 会議室のハブ PC に割り当てた Exchange ユーザーを宛先に指定（※）します。

スケジュールされた会議の開始時間 10 分前から会議の終了時間まで、ハブ PC の下部のステータスバーに会議の件名と時間が表示され、ハブ PC がオンライン会議に参加できるようになります。

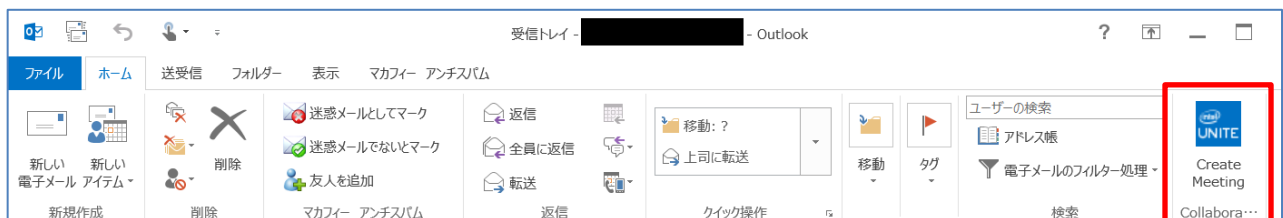
※) 「アドホックミーティング機能」を利用する場合は、Exchange ユーザーを宛先に指定する必要ありません。詳しくは、「アドホックミーティング機能について」(P.27) をご覧ください。

ハブ PC に接続するためのリンクメールを送信する

会議の参加者が A 会議室のハブ PC に資料を共有できるようにするため、Microsoft Outlook を使用してハブ PC に接続するためのリンクメールを送信します。

● 会議主催者の操作

1 Microsoft Outlook を起動し、「ホーム」タブの「Create Meeting」をクリックします。



2 ハブ PC に接続するためのリンクが記載されたメールが作成されるので、必要事項を記入し、会議参加者へ送信します。

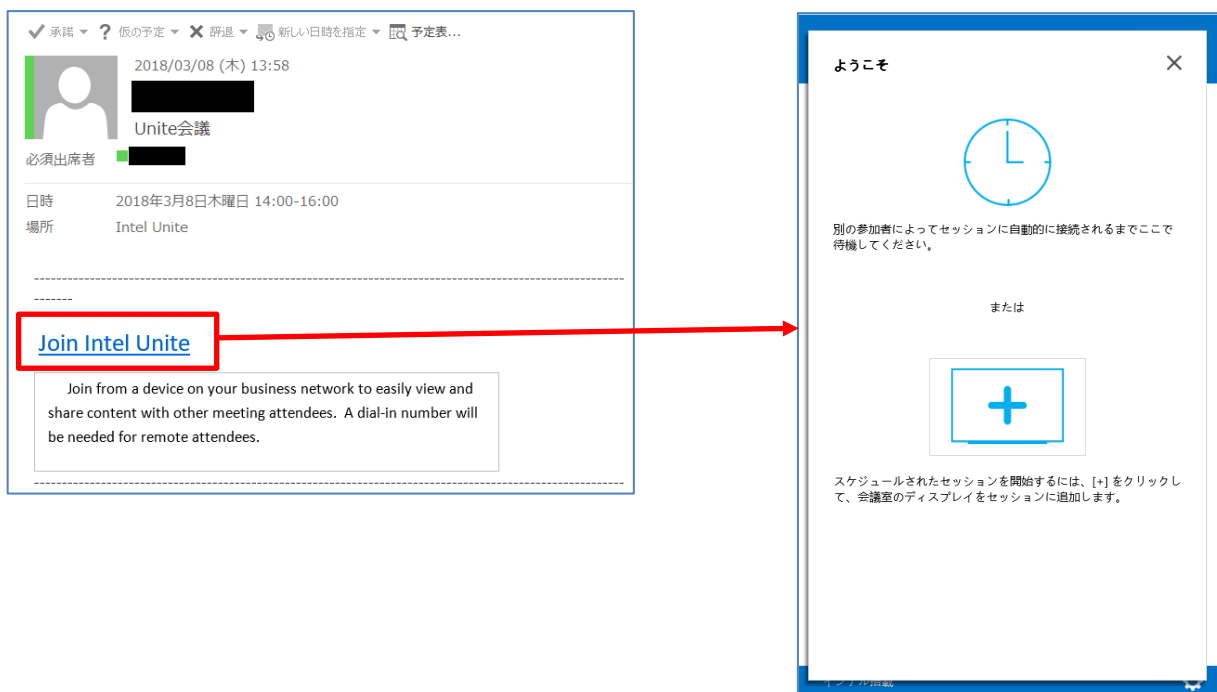
メール本文部に、ハブ PC に接続するためのリンクが作成されます。

The screenshot shows the Intel Unite meeting creation interface. At the top, there's a '宛先...' (To) field with a redacted email address. Below it, the '件名(U)' (Subject) is 'Unite会議' (Unite Meeting). The '場所(I)' (Location) is 'Intel Unite'. To the right of the location is a '会議室(M)...' (Meeting Room...) button. The '開始時刻(I)' (Start Time) is '2018/03/08 (木)' at '14:00'. The '終了時刻(D)' (End Time) is '2018/03/08 (木)' at '16:00'. There is a checkbox for '終日(Y)' (All Day). The main body of the email contains a blue link 'Join Intel Unite' and a text box with instructions: 'Join from a device on your business network to easily view and share content with other meeting attendees. A dial-in number will be needed for remote attendees.'

● 会議参加者の操作

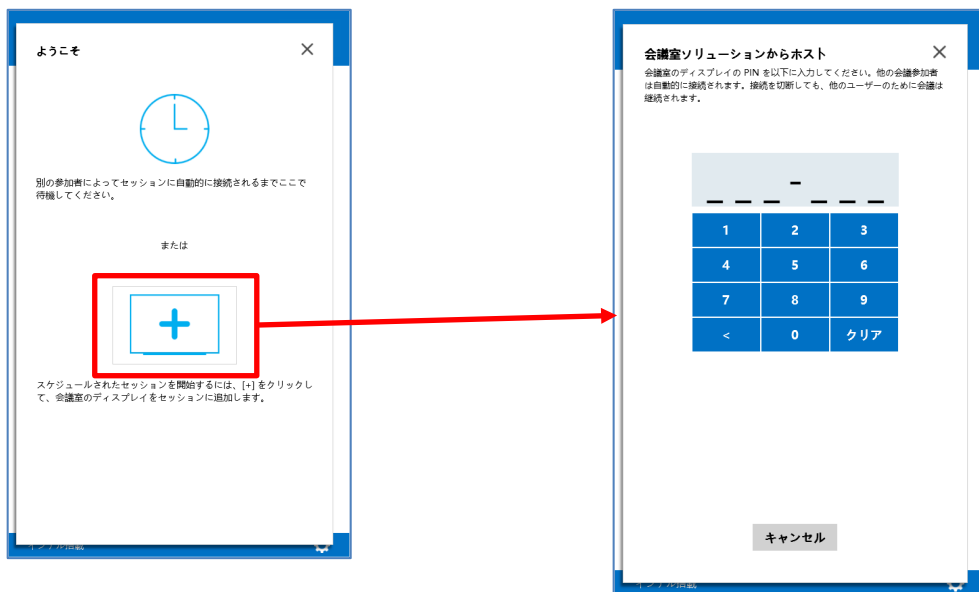
1 受信したメールにある「Join Intel Unite」のリンクをクリックすると、Intel Unite クライアント・アプリケーションが起動し、ハブ PC 接続前の待機画面が表示されます。

※会議参加者のクライアント PC には、Intel Unite クライアント・アプリケーションがインストールされている必要があります。



2 待機画面の「+」をクリックすると PIN の入力画面が表示されるので、会議参加者の 1 人が会議室のハブ PC の画面に表示されている PIN を入力し、ハブ PC に接続します。

1 人がハブ PC に接続すると、待機していた会議参加者もハブ PC に接続されます。PIN を入力する必要はありません。

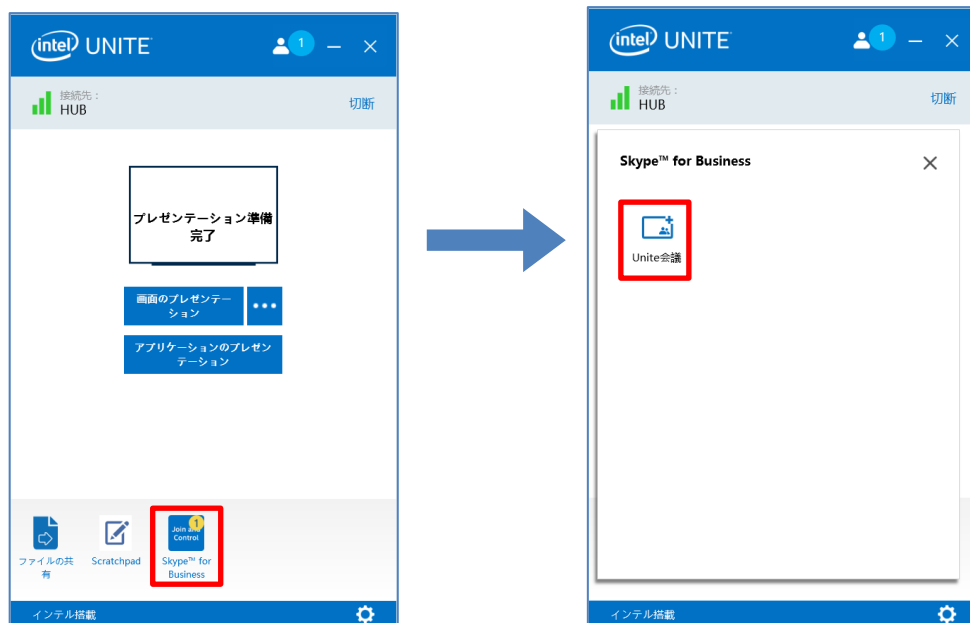


ハブ PC をオンライン会議に参加させる

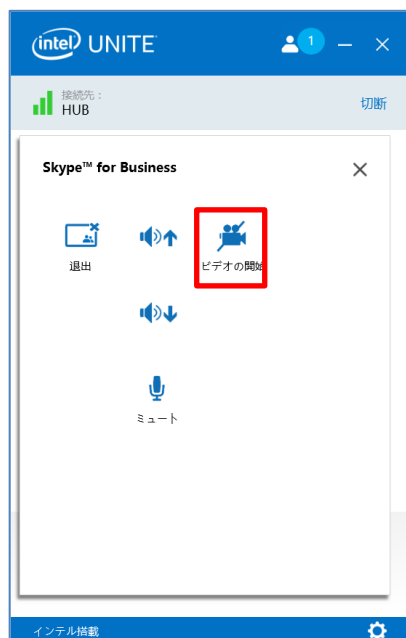
Intel Unite クライアント・アプリケーションを使用して、A 会議室のハブ PC をオンライン会議に参加させます。

本操作は、代表者 1 人が行ってください。

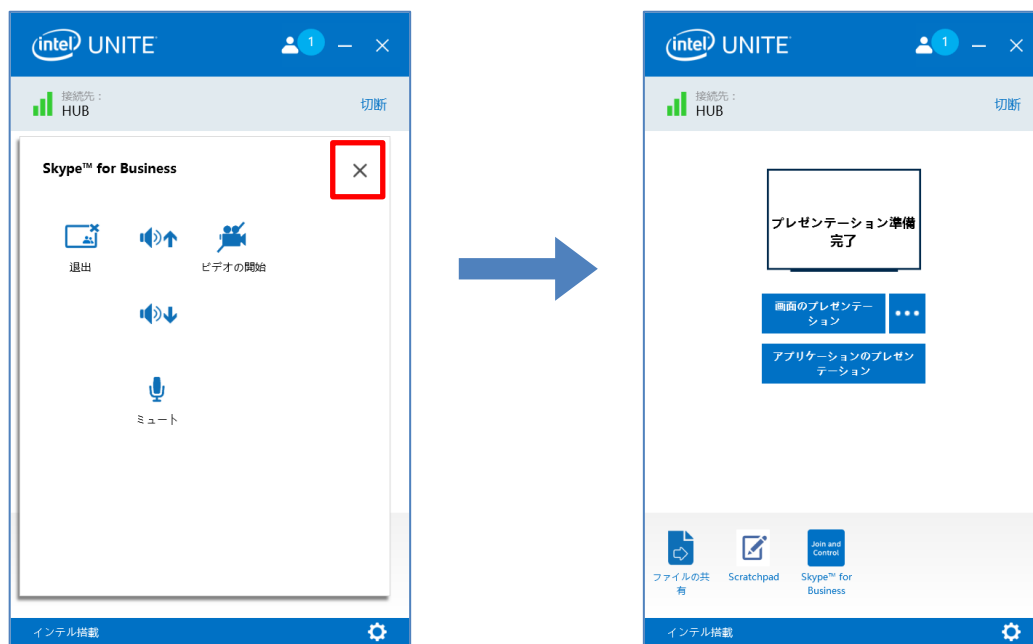
- 1 起動した Intel Unite クライアント・アプリケーションの「Skype™ for Business」をクリックし、設定した会議のアイコンをクリックします。



- 2 カメラを使用する場合は「ビデオの開始」をクリックします。



3 「×」をクリックし、Intel Unite クライアント・アプリケーション画面に戻ります。



B 会議室の参加者がオンライン会議に参加する

A 会議室のハブ PC の画面を、B 会議室のハブ PC に共有します。

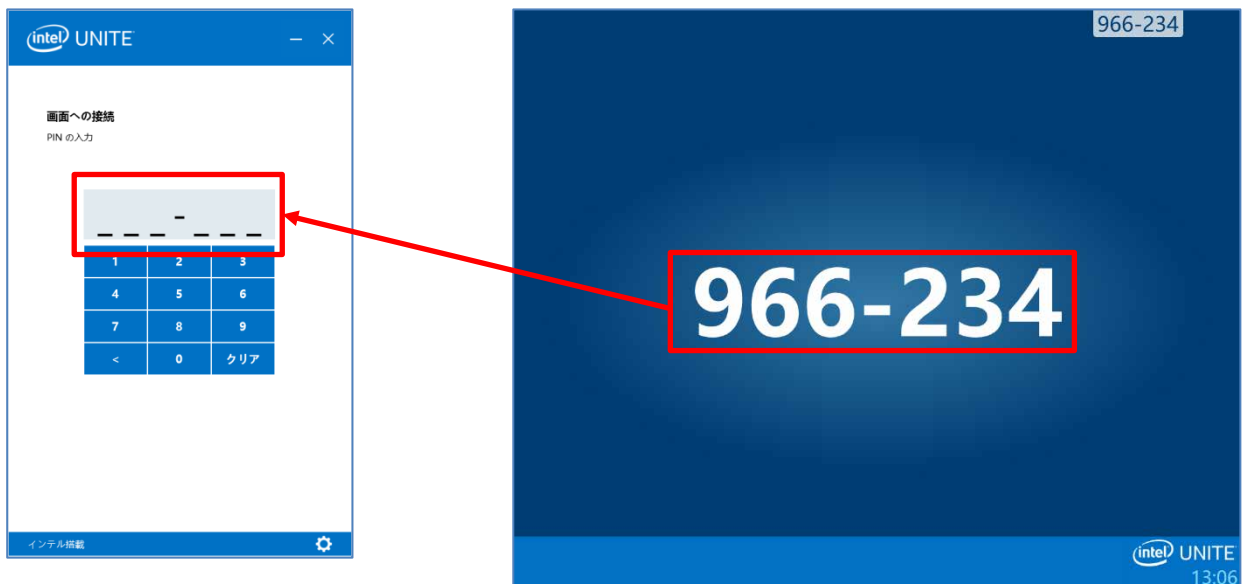
B 会議室の代表者が Skype for Business を利用して、オンライン会議に参加します。

- 1 代表者 1 人のクライアント PC に、カメラデバイス、マイク／スピーカーデバイスを接続します。
- 2 オンライン会議の招待メールから、「Skype 会議への参加」をクリックし、オンライン会議に参加します。

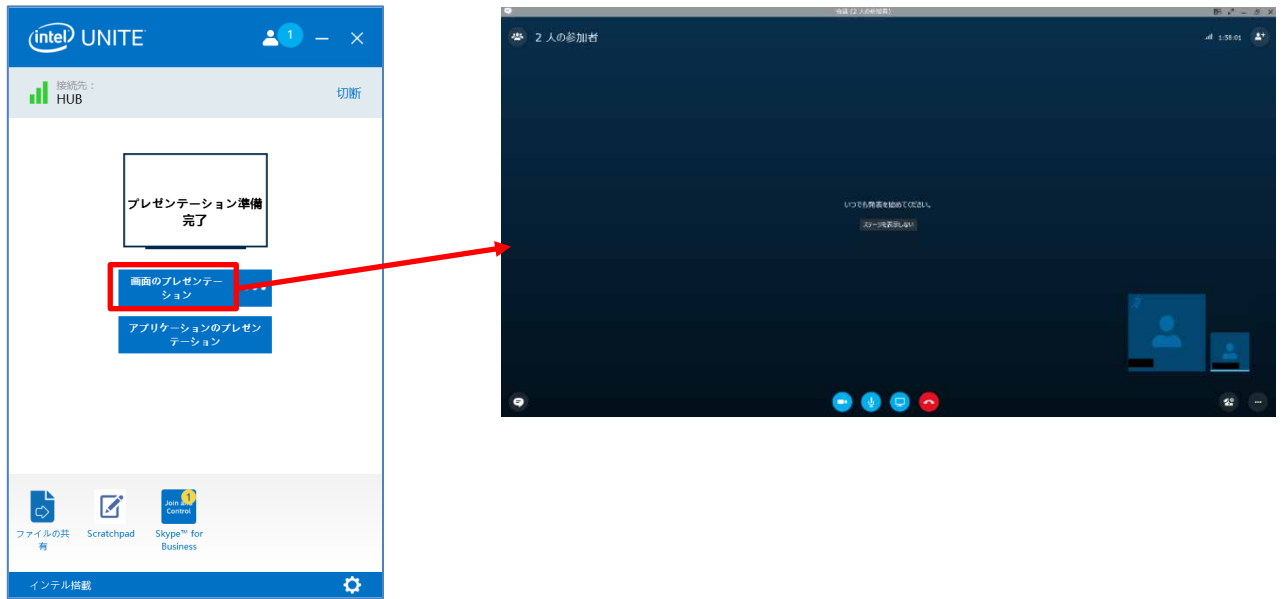


- 3 Skype for Business の画面を、B 会議室のハブ PC に共有します。

1. Intel Unite クライアント・アプリケーションを、デスクトップにあるショートカットから起動します。
「ハブ PC に接続するためのリンクメールを送信する」で送信されたメールのリンクからは起動しないでください。A 会議室のハブ PC に接続してしまいます。
必ず、デスクトップのショートカットから起動してください。
2. B 会議室のハブ PC に表示されている PIN を入力して、ハブ PC に接続します。

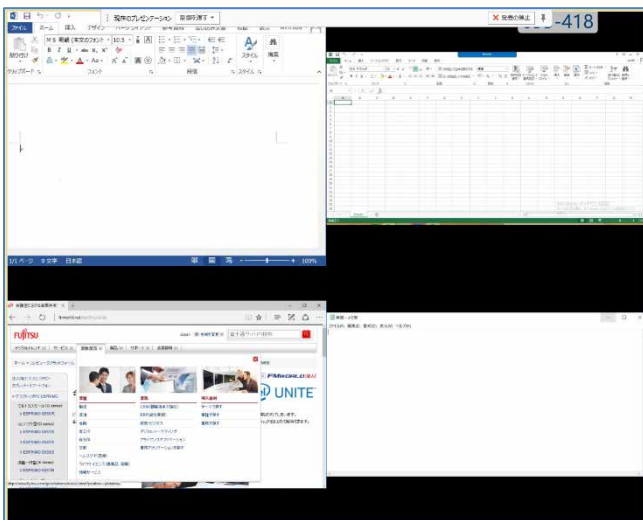


3. 「画面のプレゼンテーション」をクリックし、B 会議室のハブ PC にデスクトップ画面を共有します。

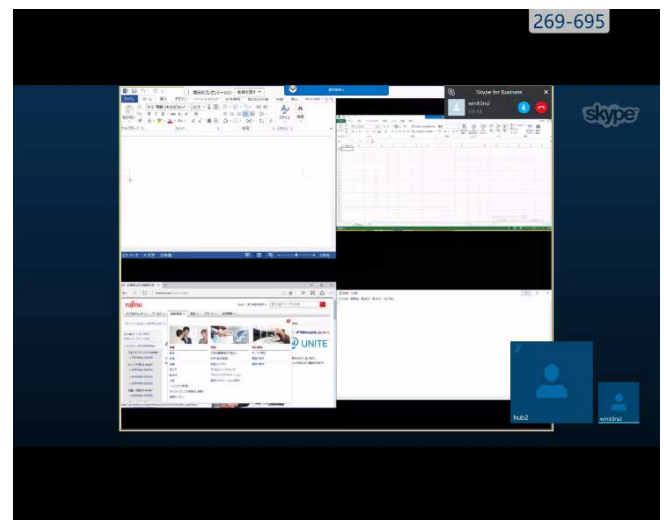


資料を共有する

以上の手順により、A 会議室のハブ PC の画面が B 会議室に共有されました。
プレゼンテーションを行う場合は、Intel Unite クライアント・アプリケーションから A 会議室のハブ PC に共有することで、どちらの会議室の参加者も資料を確認することができます。



A 会議室のハブ PC に表示される画面



B 会議室のハブ PC に表示される画面

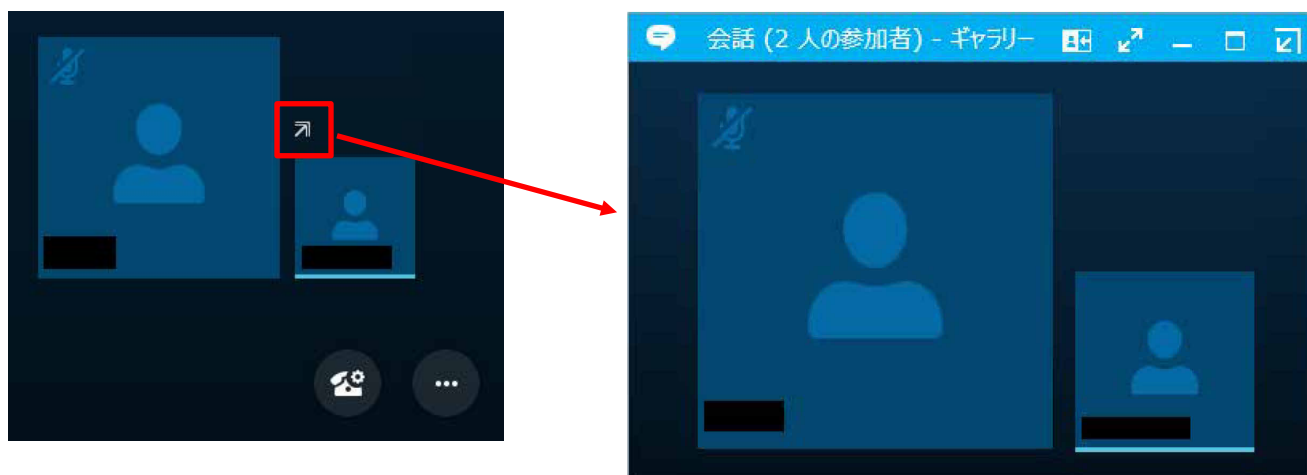
カメラ画像のサイズ変更、非表示

各会議室の様子を確認するためカメラを利用する場合、画面に表示されるカメラ画像が小さすぎたり、カメラ画像が共有している資料を隠してしまうことがあります。B 会議室では Skype for Business でカメラ画像を拡大、または非表示にすることができます。

※詳細な手順については Skype for Business のマニュアルをご覧ください。

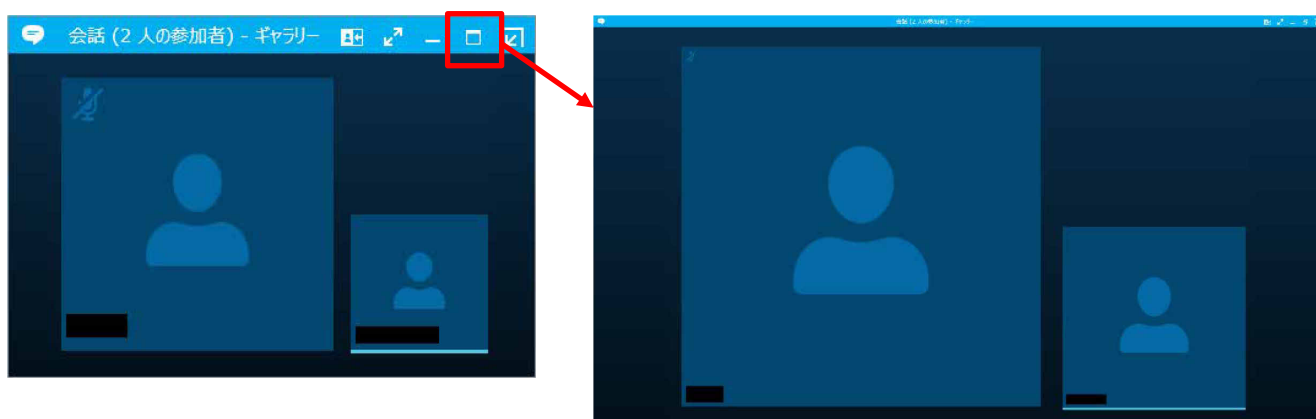
※A 会議室のハブ PC 上のカメラ画像についても同じ手順で対応可能ですが、ハブ PC にマウスを接続して操作する必要があります。

- 1 Skype for Business 画面右下のビデオギャラリーにマウスを移動し、「→」をクリックします。ビデオギャラリーが別ウィンドウで表示されます。

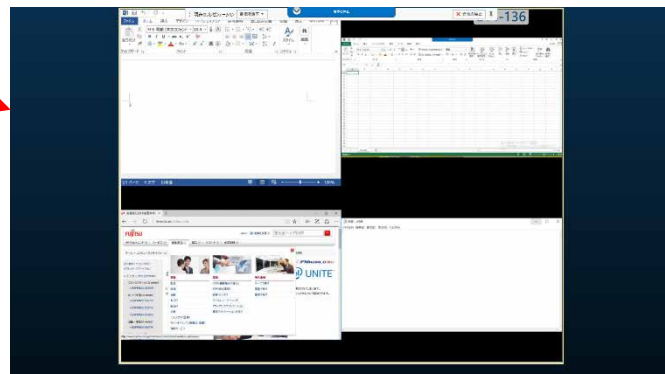
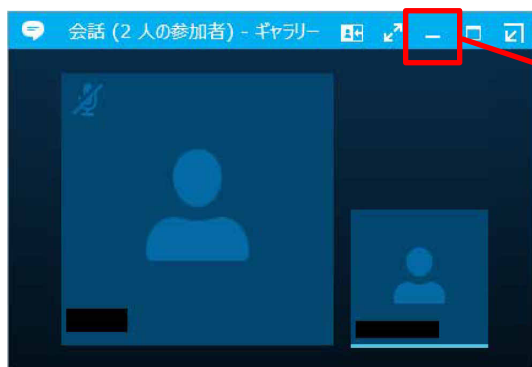


- 2 ビデオギャラリーの上部メニューから「最大化」をクリックして、必要なサイズまで拡大します。また、カメラ画像が不要な場合は「最小化」をクリックして非表示にします。

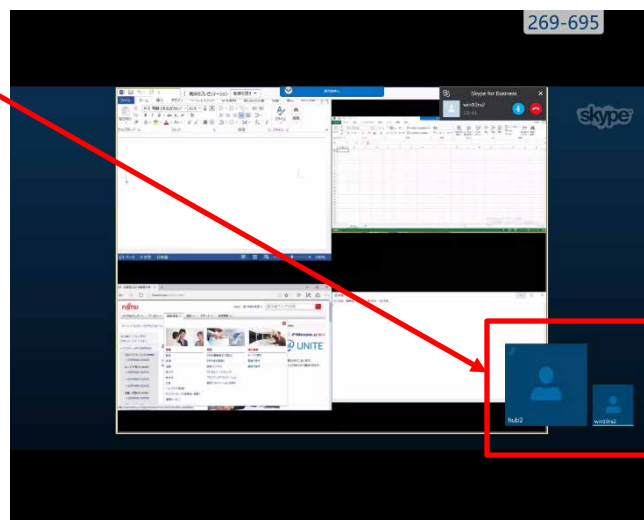
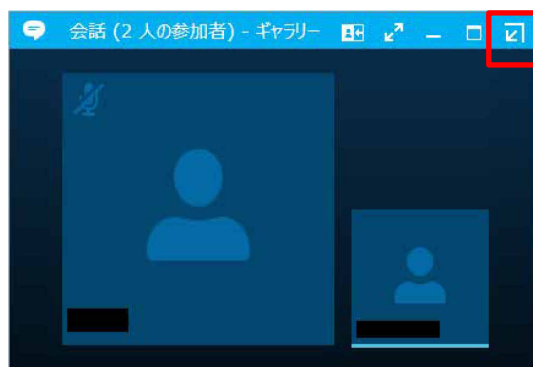
- 最大化



- 最小化



3 元に戻す場合は、「ビデオギャラリーを元のウィンドウに戻します」をクリックします。



アドホックミーティング機能について

通常の Skype for Business プラグインの利用では、オンライン会議をスケジュールするにはハブ PC に割り当てた Exchange ユーザーを宛先に指定する必要があります。

クライアント用 Skype for Business 用プラグインの機能である「アドホックミーティング機能」は、ハブ PC に割り当てた Exchange ユーザーを宛先に指定していなくても、Intel Unite クライアント・アプリケーションを利用するユーザーに会議がスケジュールされていれば、ハブ PC をオンライン会議に参加させることができます。

アドホックミーティング機能を利用するためには、「事前準備」(P.4)を行った後、次の準備を行ってください。

- ・ ハブ PC の設定ファイル編集
- ・ ハブ PC のファイアウォール設定
- ・ クライアント用プラグインのインストール
- ・ 「default」プロファイルの編集
- ・ 動作確認

ハブ PC の設定ファイル編集

アドホックミーティング機能を利用可能にするために、ハブ PC 上に存在する設定ファイルを編集します。設定ファイルは、Skype for Business プラグインインストール時に次の場所に作成されます。

「C:\Program Files (x86) \Intel\Intel Unite\Hub\Plugins\CFCLyncPluginConfig.xml」

- 1 管理者権限で「メモ帳」などを起動し、設定ファイル内の「EnableExternalMeetings」の値を「true」に変更します。**

編集前：<EnableExternalMeetings>>false</EnableExternalMeetings>

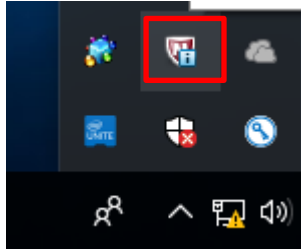
編集後：<EnableExternalMeetings>>true</EnableExternalMeetings>

ハブ PC のファイアウォール設定

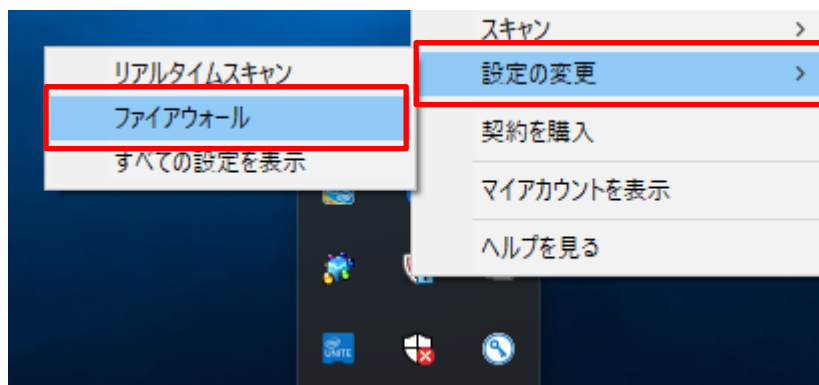
クライアント PC からハブ PC への接続を許可するため、ハブ PC のファイアウォールの設定を行います。

ここでは、Q956/MRE に標準添付の「マカフィーリブセーフ」の設定手順を説明します。

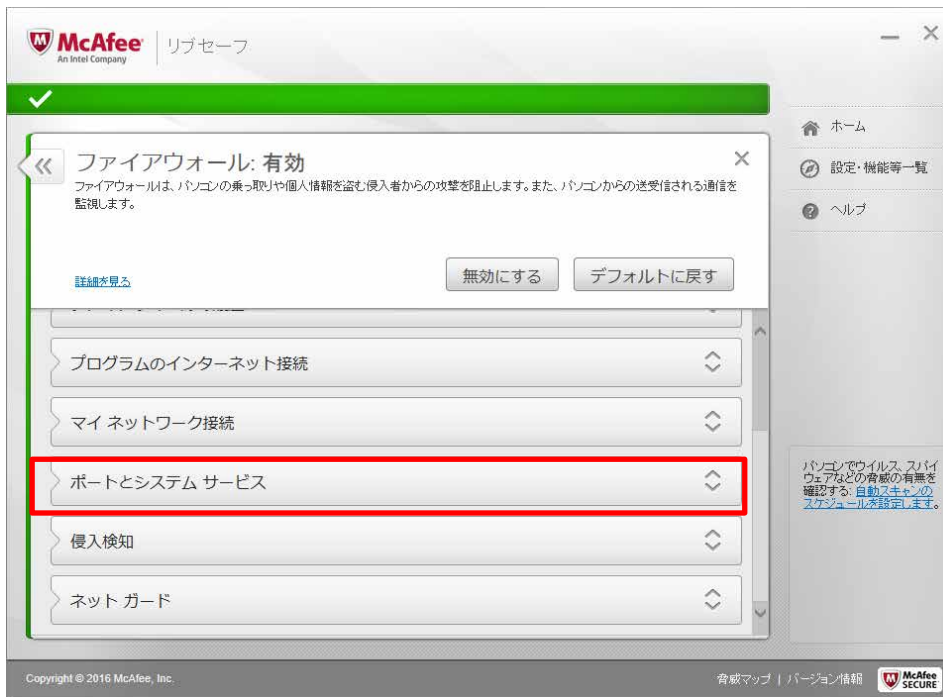
- 1 管理者権限のあるアカウントでハブ PC にサインインします。
- 2 タスクバーにある「マカフィーリブセーフ」のアイコンを右クリックします。



- 3 「設定の変更」 → 「ファイアウォール」の順にクリックします。



4 「ポートとシステムサービス」をクリックします。



5 「追加」をクリックし、次の設定を追加します。



- ・ ローカル TCP ポート: 36452
- ・ 開くポート: すべてのパソコン
- ・ その他項目: 任意

6 マカフィーリブセーフを閉じ、サインアウトします。

7 通常利用するアカウントでサインインし、ハブアプリケーションを起動します。

クライアント用プラグインのインストール

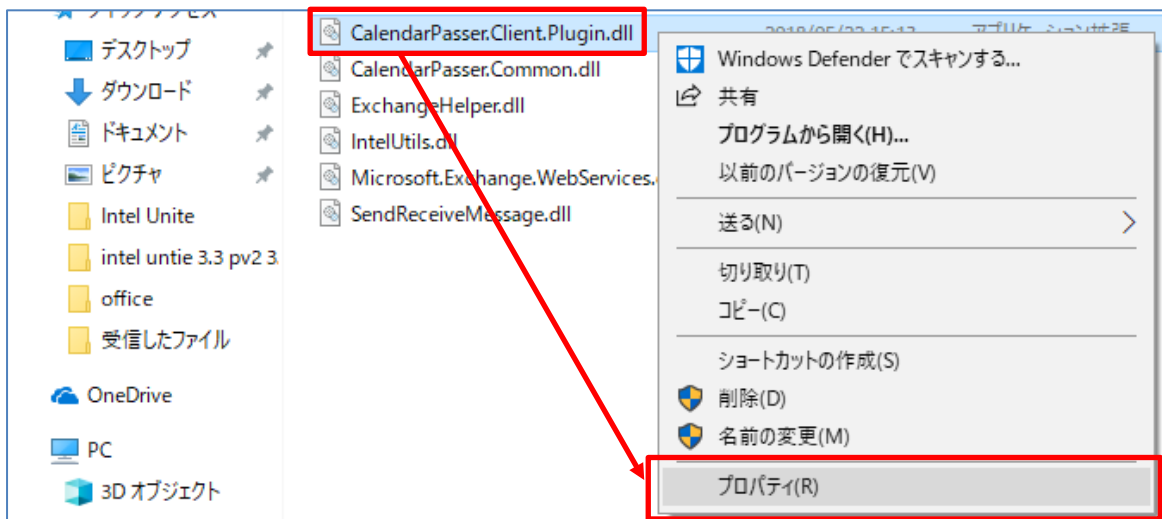
クライアント PC に、クライアント用の Skype for Business プラグインをインストールします。

- 1 「Intel Unite Plugin for Skype for Business for Client.msi」を実行します。
Intel Unite クライアント アプリケーションが起動している場合は終了してください。
- 2 表示される画面に従い、インストールを行います。

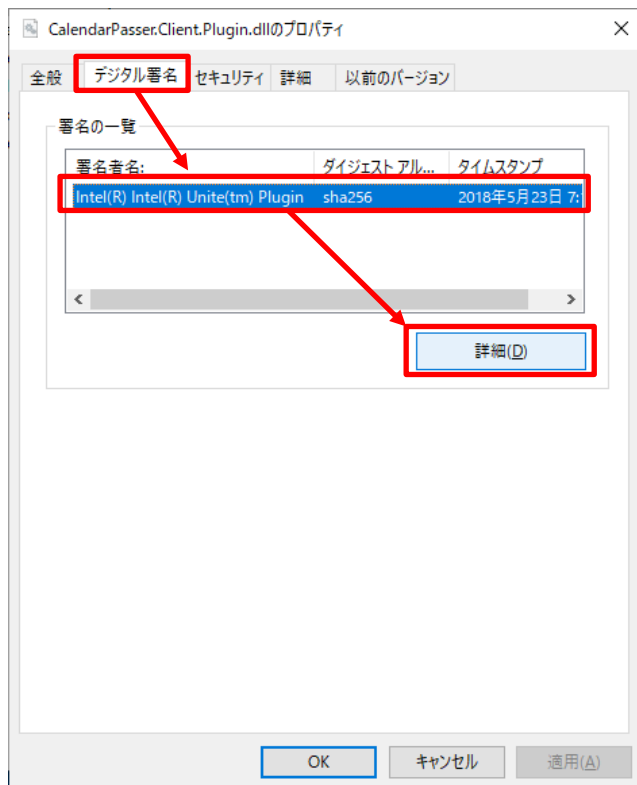
「default」プロファイルの編集

クライアント PC に Skype for Business プラグインの利用を許可するため、管理者用 Web ポータルで「default」プロファイルを編集します。

- 1 「C:¥Program Files (x86)¥Intel¥Intel Unite¥Client¥Plugins」フォルダを開き、CalendarPasser.Client.Plugin.dll を右クリックしてプロパティを開きます。

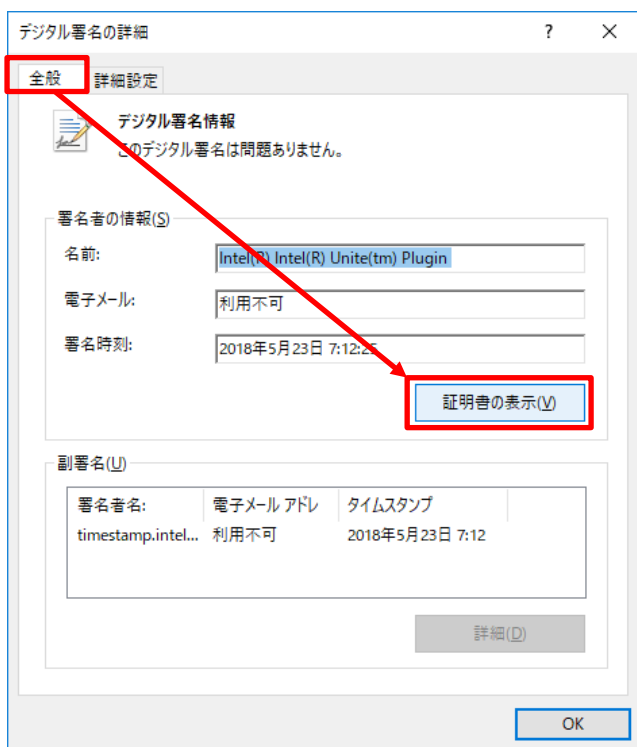


- 2 「デジタル署名」タブの「Intel(R) Intel(R) Unite(R) Plugin」を選択し、「詳細」をクリックします。



「デジタル署名の詳細」が表示されます。

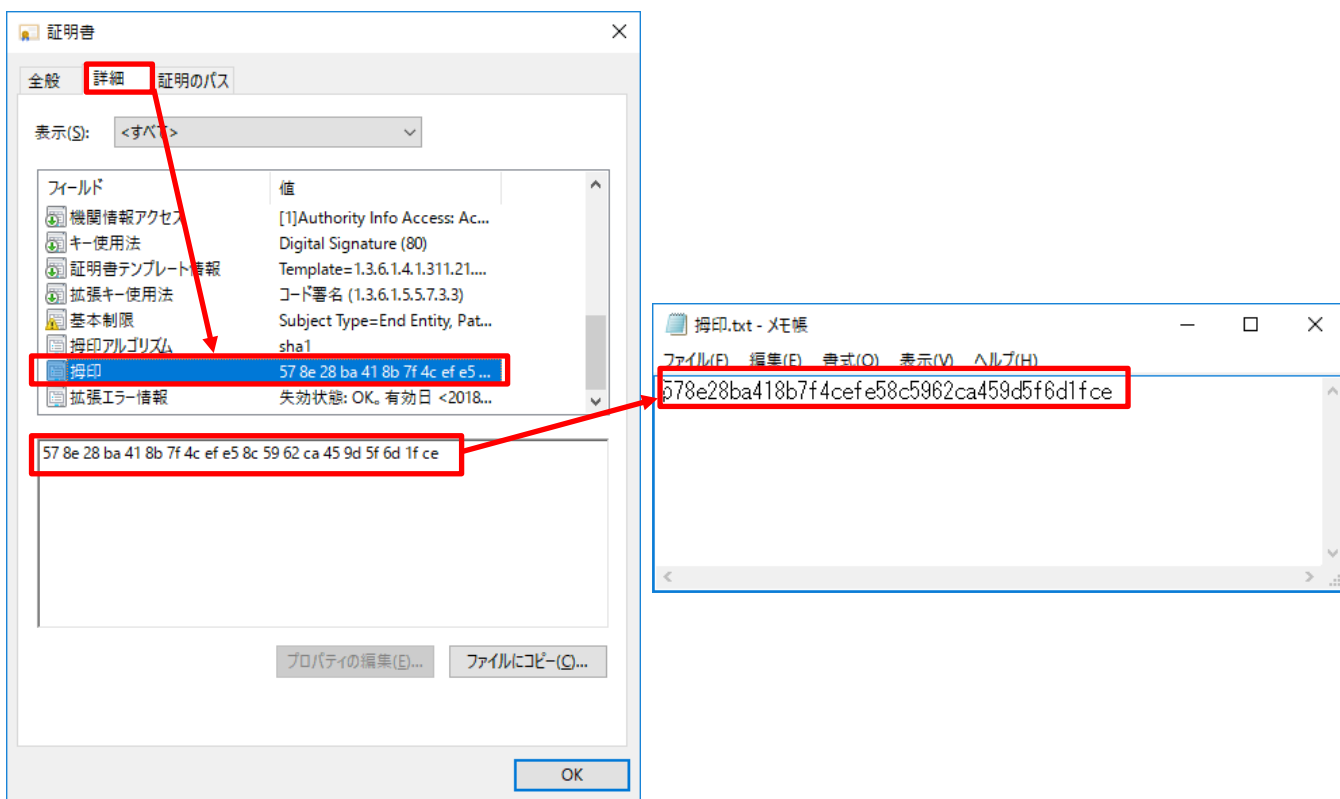
- 3 「全般」タブの「証明書の表示」をクリックします。



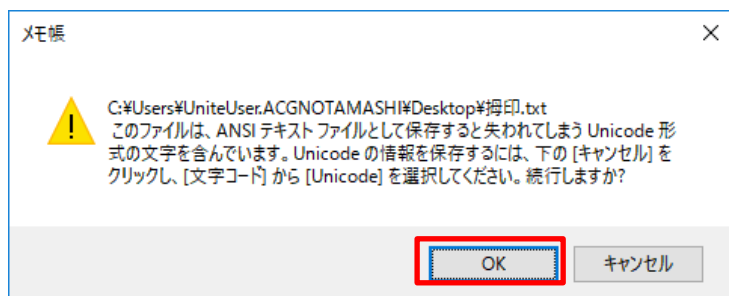
証明書が表示されます。

4 「詳細」タブの「拇印」を選択し、表示された値をメモ帳にコピーし、文字間のスペースがあれば削除して保存します。

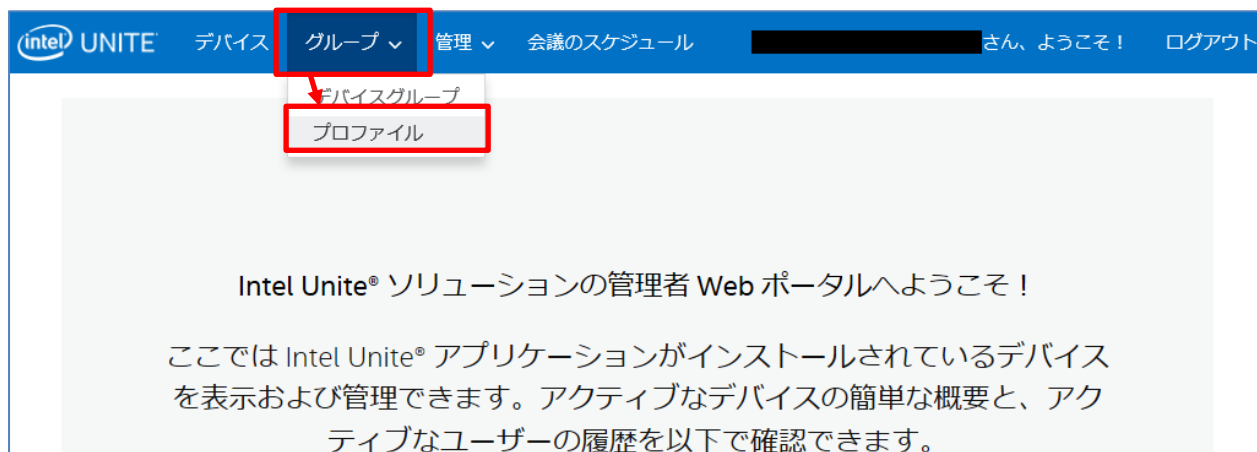
保存後は、プロパティを閉じてください。



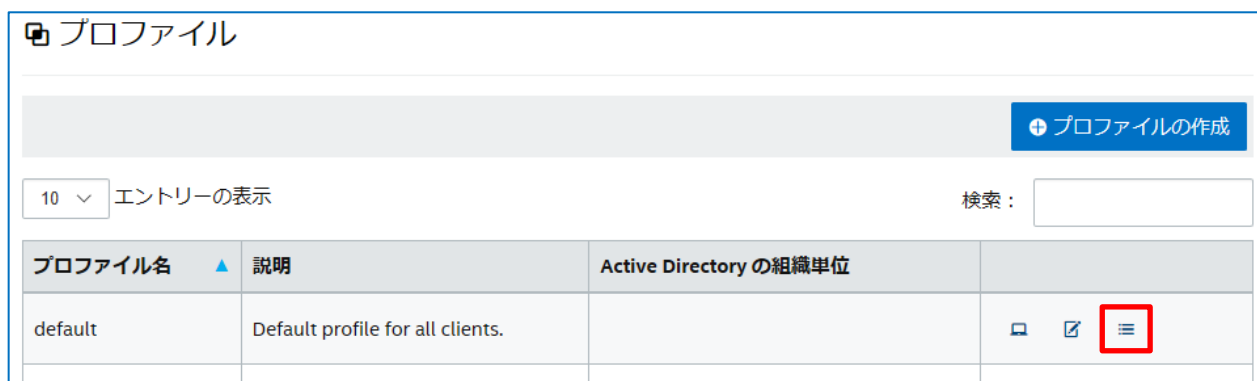
※保存時に次のメッセージが表示された場合は、「OK」をクリックして保存を続行してください。手順 4 で保存したファイルをもう一度メモ帳で開き、含まれている不要な文字を削除してください。



5 Intel Unite 管理者ポータルにログインし、「グループ」の「プロフィール」を選択します。

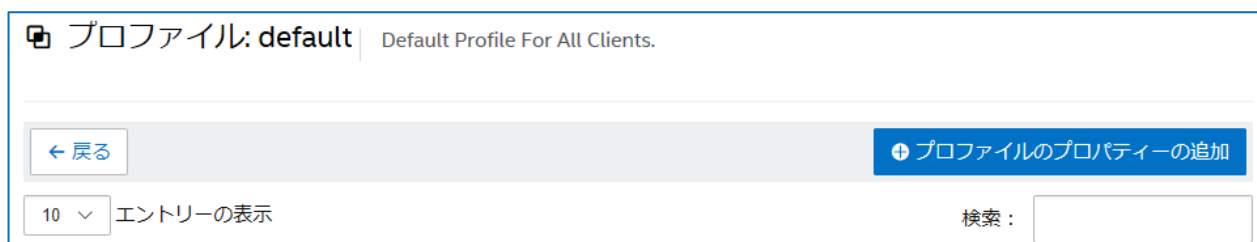


6 「default」プロフィールの「詳細を表示」をクリックします。



「プロフィール」が表示されます。

7 「プロフィールのプロパティーの追加」をクリックします。



「プロフィールのプロパティーの追加」が表示されます。

8 次の情報を入力し、「保存」をクリックします。

×

プロファイルのプロパティーの追加

プロファイル

default

キー

PluginCertificateHash_LyncPlugin

データ型

文字列

単位

テキスト

値



578e28ba418b7f4cefe58c5962ca459d5f6d1fce

保存

キャンセル

- キー : PluginCertificateHash_LyncPlugin
- データ型 : 文字列
- 単位 : テキスト
- 値 : 手順で保存した値（拇印の値）を入力します。

9 「プロファイル」画面で、手順 8 で入力したプロパティが表示されていることを確認します。

| | | |
|----------------------------------|--|---|
| PluginCertificateHash_LyncPlugin | 578e28ba418b7f4cefe58c5962ca459d5f6d1fce |   |
|----------------------------------|--|---|

10 Intel Unite 管理者ポータルからログオフします。

以上で、クライアント用 Skype for Business 用プラグインのインストールと設定が終了しました。
次に、オンライン会議への参加および退席できることを確認します。


動作確認

オンライン会議への参加および退席できることを確認します。

1 仮の会議として、「テスト会議」を設定します。

動作確認を行う際に利用する Exchange ユーザーに対して、現在の日時にオンライン会議をスケジュールします。

ハブ PC に割り当てた Exchange ユーザーを宛先に指定する必要はありません。



テスト会議 - 会議

ファイル 会議 挿入 書式設定 校閲

この会議出席依頼はまだ送信されていません。

宛先... [Redacted]

件名(U) テスト会議

場所(I) Skype 会議

開始時刻(I) 2018/03/07 (水) 13:30 ☐ 終日(V)

終了時刻(D) 2018/03/07 (水) 14:00

ト

→ [Skype 会議への参加](#)

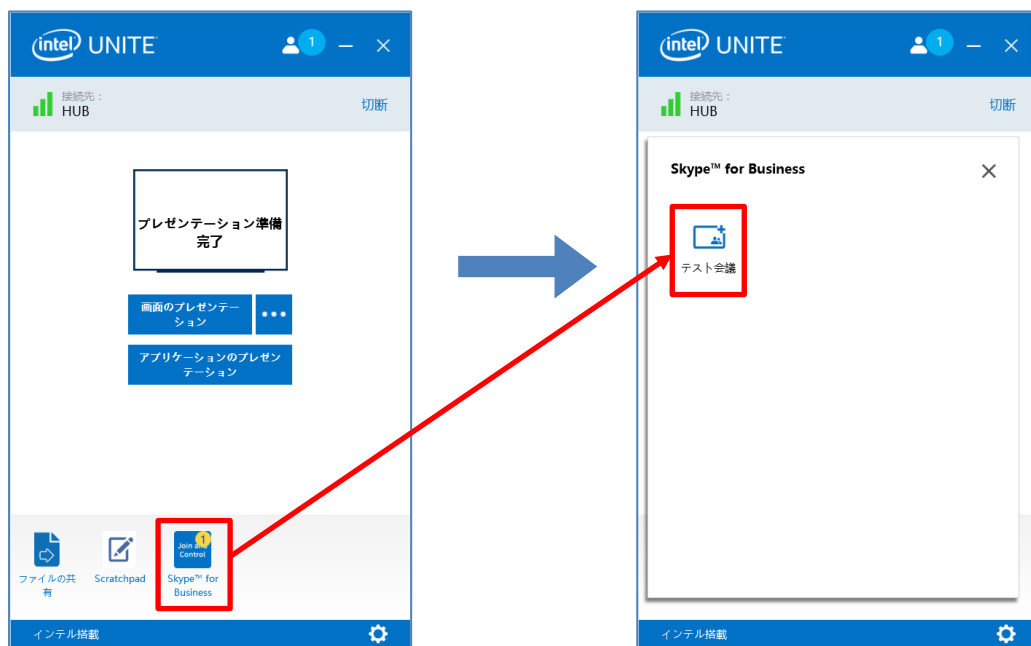
参加に支障がありますか? [Skype Web App を試す](#)

初めて [Skype 会議に参加する場合](#)

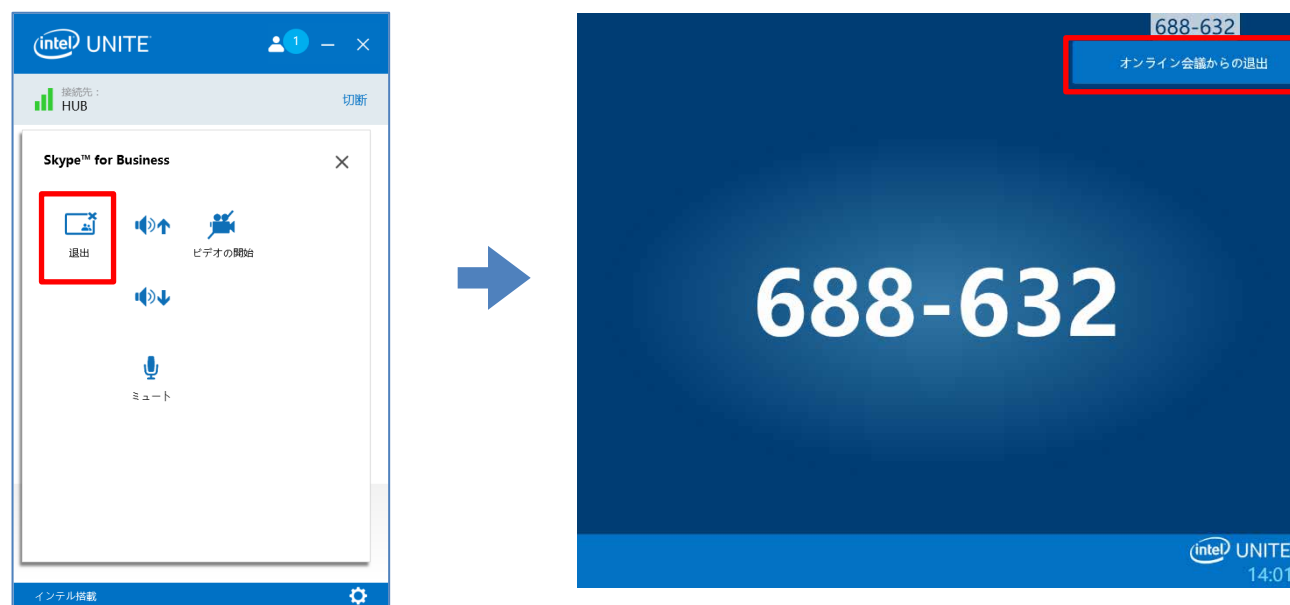
2 クライアント PC で Intel Unite クライアント・アプリケーションを開き、ハブ PC の PIN を入力して接続します。



- 3 クライアント PC の Intel Unite クライアント・アプリケーションの画面で「Skype™ for Business」をクリックし、表示された画面で設定した会議名のアイコンをクリックします。



- 4 ハブ PC がオンライン会議に参加できることを確認したら、「退出」をクリックし、会議を終了します。



以上で、アドホックミーティング機能を利用することができます。
ハブ PC に割り当てた Exchange ユーザーを宛先に指定することなく、多拠点会議を行うことができます。
多拠点会議を行う手順については「多拠点会議を行う」(P.18)をご覧ください。

トラブルシューティング

ここでは、Skype for Business 用プラグインの利用時に発生する一般的な問題、考えられる原因、および解決方法について説明します。

| No | 問題 | 考えられる原因と解決方法 |
|----|---|--|
| 1 | プラグインが Intel Unite アプリケーションに表示されない あるいは プラグインは表示されるが、プラグインのアイコンをクリックすると、「接続されていません」と表示される | <p>この問題の原因はいくつか考えられます。</p> <p>【原因 1】 プラグインが信頼済みでない</p> <p>【解決策】 「Skype for Business 用プラグインのインストール手順」(P.8) をご覧になり、プラグインを信頼済みにしてください。</p> <p>【原因 2】 プラグインが Exchange Server に接続できていない</p> <p>【解決策】 プラグインをアンインストールおよび再インストールし、「テスト接続」ボタンを使用して、設定が正しいことを確認してください。</p> <p>【原因 3】 プラグインが Skype for Business と接続できていない</p> <p>【解決策】 Skype for Business がインストールされてログインできることを確認してから、ハブ PC の Intel Unite アプリケーションを起動してください。</p> <p>原因を調査するために、プラグインのデバッグモードを有効にして、Intel Unite アプリケーションをデバッグモードで起動することができます。</p> <p>【起動の仕方】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プラグインのデバッグモードを有効にするため、ハブ PC 上に作成される次の設定ファイルに Debug の指定を追加します。 設定ファイル： “C:¥Program Files(x86)¥Intel¥Intel Unite ¥Hub¥Plugins¥CFCLyncPluginConfig.xml” 追加する情報： <Debug>true</Debug> 2. Intel Unite アプリケーションをデバッグモードで起動します。コマンドプロンプトを開き、次のように入力してデバッグフラグを付け、Intel Unite.exe を起動します（引用符を含む）。 “C:¥Program Files(x86)¥Intel¥Intel Unite ¥Hub¥Intel Unite.exe” /debug <p>デバッグコンソールは 2 つあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • テキスト文書で表示される Intel Unite アプリケーションコンソール • コマンドプロンプトで表示されるウィンドウ |

| No | 問題 | 考えられる原因と解決方法 |
|----|---|--|
| 2 | プラグインウィンドウに「参加」ボタンが表示されない | <p>【原因】 プラグインが現在のスケジュールでオンライン会議を認識していない</p> <p>【解決策】 オンライン会議が現在スケジュールされているか、接続しているハブに関連付けられた Skype for Business ユーザーがその会議を承諾しているかを確認してください。 また、オンライン会議のリンクが電子メールの本文に含まれていることを確認してください。このプラグインを有効にするには、リンクが電子メール本文に含まれている必要があります。 リンクが含まれていない場合は、Exchange Server の設定を確認してください。</p> |
| 3 | 「参加」ボタンが表示されても何も起こらない | <p>【原因】 Internet Explorer がインストールされていない</p> <p>【解決策】 オンライン会議に参加するために、プラグインは（ハブ PC 上の）Internet Explorer を使用して参加を試みます。 Internet Explorer がインストールされていることを確認してください。</p> <p>Internet Explorer がインストールされている場合は、プラグインのデバッグモードを有効にして「切り替え」ボタンを表示させ、画面を切り替えて（Intel Unite が非表示になります）会議への参加を試行できるようにします。 そうすることで、Skype for Business が別の理由で会議に参加できないのかどうかを特定しやすくなる場合があります。</p> |
| 4 | スケジュールされた会議が Skype for Business 用プラグインから承諾されていない、または辞退されている | <p>【原因】 オンライン会議への招待メールが送信された際に、システムがオフラインだった、または Skype for Business がインストールされていなかった</p> <p>【解決策】 1. Intel Unite アプリケーションを終了します。 2. Skype for Business が実行中であり、適切なユーザーとしてログインした状態であることを確認してから、Intel Unite アプリケーションを起動します。 3. オンライン会議への招待を再送信し、会議が承諾されたことを確認します。</p> |
| 5 | カメラ／マイク制御がプラグインウィンドウ内に表示されない | <p>【原因】 Skype for Business がカメラやマイクを使用するように構成されていない</p> <p>【解決策】 カメラボタンとマイクボタンは、ハブ PC がオンライン会議に参加し、Skype for Business がデバイスを使用するように構成されている場合にのみ表示されます。 Skype for Business の構成を確認してください。</p> |

| No | 問題 | 考えられる原因と解決方法 |
|----|--|--|
| 6 | ハブのプレゼンテーション中に、他の人が Skype for Business から制御を要求している | <p>【原因】 プラグインの仕様動作</p> <p>【解決策】 プラグインは制御の要求を処理しません。リクエストは最終的にタイムアウトになります。</p> |
| 7 | 会議がスケジュールされていても、ハブ PC に接続されたディスプレイに会議が表示されない、またはログファイルで予定数が 0 になっている | <p>いくつかの原因が考えられます。</p> <p>【原因 1】 現在の時刻でオンライン会議がスケジュールされていない</p> <p>【解決策】 オンライン会議がスケジュールされていることを確認します。 ハブ PC 上で実行されているアカウントの Microsoft Outlook 予定表を開き、オンライン会議への招待を表示します。</p> <p>【原因 2】 招待メールの本文にオンライン会議のリンクが記載されていない</p> <p>【解決策】 招待メールにオンライン会議のリンクが記載されている必要があります。リンクが記載されていない場合、Exchange Server の設定が影響している可能性があります。設定を見直してください。</p> |
| 8 | プラグインのユーザー・インターフェースの応答が遅い、または応答しない | <p>【原因】 ネットワークが高負荷状態となっている</p> <p>【解決策】 ユーザー・インターフェースのボタンを押したときには、ハブ PC との通信が発生します。このとき、ネットワークの状況により、通信に遅延が発生する可能性があります。 応答が非常に遅い場合は、ハブ PC とクライアント PC 間のネットワーク状況を確認してください。</p> |

| No | 問題 | 考えられる原因と解決方法 |
|----|--|--|
| 9 | <p>アドホックミーティング機能を利用しようとしているが、Intel Unite クライアント・アプリケーションにスケジュールされたオンライン会議が表示されない</p> | <p>いくつかの原因が考えられます。</p> <p>【原因 1】 アドホックミーティング機能を利用するための設定が正しく行われていない</p> <p>【解決策】 「アドホックミーティング機能について」(P.27) をご覧になり、必要な設定が行われているか確認してください。</p> <p>【原因 2】 同じ時刻にハブ PC に割り当てた Exchange ユーザーとクライアント PC に割り当てた Exchange ユーザーに対して、それぞれ別の Skype for Business によるオンライン会議がスケジュールされている</p> <p>【解決策】 上記状況の場合、Intel Unite クライアント・アプリケーションに表示されるオンライン会議情報は、ハブ PC に割り当てた Exchange ユーザーにスケジュールされた会議が優先されます。 オンライン会議がスケジュールされていないハブ PC をご利用ください。</p> |
| 10 | <p>アドホックミーティング機能で利用する TCP36452 ポートが、別のアプリケーションで利用されている</p> | <p>アドホックミーティング機能で利用するポートは、TCP36452 で固定されており変更できません。 アドホックミーティング機能を利用する場合は、重複している別のアプリケーションの利用ポートを変更してください。</p> |

Intel Unite®多拠点会議スタートガイド

B6FK-1181-01 Z0-00

発行日 2018年9月

発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。